

第180回簡易アンケート自由意見（619件）

質問 1 2. 最後に地震への備えについてご感想・ご意見がありましたら、自由にお書きください。

1	ライフラインが止まるかどうかで大分変わってくると思います。
2	地震等の災害に備えて、水・食料の備蓄はしていたが災害時の連絡方法等については何も決めていなかったのは、反省点。
3	改めて避難場所や井戸水等の確認をしないといけないと感じました。
4	近く大地震がくるという情報はよく知っている。家屋が古く家具の倒壊よりも家屋の倒壊を心配しているが、高齢であり耐震の修理をしてもこの先何年生きるか分からないので、運を天に任せている。
5	災害用伝言サービスを平常時に利用したいと思っています。
6	備蓄する水についての、消費or使用期限のエビデンスを明確にするよう指導していただきたい。 ペットボトル入りの水の場合、何故この期間を過ぎたら使用できない・・・などなど
7	防災訓練を年に複数回、曜日を変えて実施して欲しい。災害がいつも日曜に来るとも限らないので。その際に連絡訓練も体験したい。
8	発生時点の公助・共助・自助の優先順位は、県ほどの順序で発信していますか？ 市・自治体の備蓄品の配布基準はどうなっていて県民に周知出来ていますか？ まず、上記2点をお知らせ頂きたい。（アンケート結果での回答を求む） 災害発生時には市・自治体が備蓄しているものをある被害基準で配布開始するのであれば平等配布すべきだと考える。その際、自助の備えがあったら受け取る/受け取らないは自己判断なのでしょうか？自己判断であるとすると公的備蓄の意味がありません。そういった基準を明確にした上で自助の必要性、量の確保などを発信してください。
9	”身元保証人問題”と同様ですが、家族のいない一人暮らしの人間が、イザというときにどうすべきかの検討が進んでいないように感じます。
10	”当たり前”の事として家族がお互いに気をつけて、災害自体を自分の事として取り組むように心がけている。幸いなことにまだ災害に遭遇していないが、近隣の人と共にその時に充分共同対応出来るように心がけている。
11	「災害用伝言サービス」、「高所からの避難方法」、色々現職の時は、体験したが、それから10年以上たつと、何を体験したのかさえも忘れてしまう。 色々体験するのは良いが、その体験が身に付くような仕組みが必要と思う。 地震の体験、煙の場所の体験、豪雨の体験、伝言サービスの体験・・・数数えきれないほどあるが、それが何十年も前では、その記憶さえも怪しくなってきた。 地震、災害、備えあれば憂いなしだが、全てに対して備えるには経済的な負担が重すぎる。1度備えただけでは、役に立たずその備えのメンテナンス（買い置きの水も、定期的な買い替えが必要）が必要で、平常の日常生活だけで精一杯となり、手が回らないのが、現実と思う。
12	・各自の意識が大切であり、備えが大切であることを意識して生活する。 ・防災課の担当者は住民の意見をよく聞くべきで、防災集会ではやることをしたから責任がないような話をしないように言葉を慎むべきです。
13	・地震の怖さが分からない。 ・体験ばなしを聴くチャンスが中々ない
14	・伝言ダイヤルアプリは格安携帯では提供されていないので面倒。LINEのようなシステムが好ましい（システムはcocoaのような形式でアプリとして提供し、政府側の情報も流せるようにしてはどうかと思う） ・水に関しては、小川や河川が近くにあるので、利用できるような設備を自治体で持つことはどうか。 ・自治体の避難所の収容容量は、全員避難の場合収容しきれない。かといって、避難しなければ支援を受けられない心配が大きい。 ・地域の「区」単位での「自主防災組織」が結成されているが、自治体が求める機能が明確でなく、自治体のマニュアルに「自主防災組織」が含まれない。これでは、実際の災害時に動けないと感じるし、普段のモチベーションも上がらない。
15	1) ペットボトル入りのミネラルウォーターを賞味期限以内のものと賞味期限が過ぎたものも捨てずに保管しています。トイレ、入浴、食器を洗う、洗濯用の水もなくなり、困ることを被災者から、よく聞いているので。2) 火災、浸水などで失って困るような重要なものは、自宅には保管しないようにしています。3) 食器棚、お仏壇以外の家具、収納は高さが90cm以下のものを利用しています。4) 新型コロナウイルスに感染した場合、2週間の隔離期間は、外出や外部との接触が制限されてしまうので、平日頃、食料品、日用品など災害用に準備してあるものがあれば安心だと思います。

16	<p>1. 高齢者には、広報紙でお知らせありますが、わかりにくい。もっと、強化期間にして、具体的に指導をする事を開催してほしい。</p> <p>2. 高齢者は、簡単スマホを持ちながらも、災害用伝言サービスを知らない。また、市町村で窓口をつくり、指導してほしい。また、自治会などで、指導があれば参加したいです。</p>
17	<p>1. 指定避難所が、開設されない場合はどこに避難すべきでしょうか？ 自宅前が40cm以上水が出て、市も交通通止め標識を設置して行くが、避難困難に成る事があるので、事前に避難したいが、実際に一昨年10月の台風でも、市の地域指定避難所は開設されず、家の前は40cm以上の水が出た。床下浸水しうる状況に会った</p> <p>2. 伝言ダイヤル 東日本大震災時に、大阪から自宅に電話をしても回線使用不可で、伝言ダイヤルにメッセージを残そうとしたが、対象地区でないとのメッセージが流れるだけで、どこの地区が利用できるのかの案内も無かった</p>
18	<p>10Lのポリタンクに水道水を入れて風呂場に置いている。2、3日ごとに水を交換する際には、古い水は風呂水にしている。</p>
19	<p>10年前の震災時も、皿1枚割れず直接の被害ゼロ、日頃の買い置きのおかげでスーパーの行列も縁がなかった。コロナの買い占め問題も、日頃のストックで影響なし。備えあれば憂いなし、に尽きる。</p>
20	<p>①行政発行の各地域の想定震度および被害想定マップ等の発行を望む。②災害時の必要な道具を県民一人一人に配布してほしい。また、定期的に消費期限等の品物の交換を希望する。まずは、災害リュックを県民一人ひとりに配布してほしい。中身は、四季に応じて個人の衣服等も入れられるもの③ウイルス等の最新避難指針等の策定を望む。策定後は、速やかに県民に示してもらいたい。避難場所をきめ細かく設定し、密にならないようにしてほしい。④災害時にわかる名札等の配布を検討してほしい。（住所氏名年齢等の記載されたもの）</p>
21	<p>①備えるべき必須内容そのレベルなど 定期的に周知させる情報提供を継続してゆく。 ②いざ発生した時の道路交通網確保出来る様備えてほしい（国・県レベル）、怪我人、病人、火災、ライフライン確保、避難などなどで最優先に確保が必要となる。 中でも重要路線の橋の確保は重要と考える、市町村レベルでも重点確保ルートや橋など指定し住民にも避難場所の様に分かっていると安心できる。</p>
22	<p>2011年の東日本大震災の時は埼玉在住で大きな揺れを体験しているので備えだけはしていようと思ってます</p>
23	<p>3.11と9.11（地震ではなかったけど）で、非常食などの見直しをされていて、公的な情報や生協のちらしを参考にします。</p>
24	<p>3.11災害時会議に出席 電話不通 インターネット（スカイプ）にて連絡OK 災害時のインターネット回線の確保が重要</p>
25	<p>3.11はすごかったけど 私の家などが倒れるとは思えない。二階作りですけど周り中に下屋があるから倒れない。</p>
26	<p>3.11東日本大震災の時、携帯電話が全く繋がらなかったのですが、SNSだけは普通に使えたことを思い出しました。おかげで家族と連絡を取れました。</p>
27	<p>伝言サービスの体験は災害への意識づけに効果があるとは思いますが、なければならぬほどとは思えません。現状はラインなどの一瞬オンラインになれば連絡ができるツールもありますので、以前よりも優位性は低くなっています。継続されている取り組みなのならば見直しも視野に入れると良いのではと思います。</p>
28	<p>80後半の家族は、体験してもイザの時にどうしたら良いか忘れる。分からなくなる。使えない状態だから悩みます。 戦時中は、空襲の直後に消防団員と近所さんが、気絶中の家族を助け出してくれたらしいから、現代でもソレが一番早い初動救助や現況把握だと思います。</p>
29	<p>80歳になりますが今まで災害に遭わなかった、その体験が持続している。</p>
30	<p>PHV車両や発電機等に補助があると嬉しいです。</p>
31	<p>あまりこだわる事はないんじゃないでしょうか。東日本大震災のときも、困ったのは鉄道などが何日も動かなかったことでした。</p>
32	<p>あまり災害を意識してないと改めて思い考えさせられました。</p>
33	<p>あるかも知れないし、無いかも知れないので、なんとなくしか準備してません。意識はあるんですけど。 アウトドアを通して、災害イベントを企画してもらえませんか。</p>
34	<p>あれから10年。地震の備えよりコロナ禍の方が心配でそちらに注意が向いています。</p>
35	<p>アンケートに回答し、自分の備えが足りていないことが分かりました。 いつ非常時に遭っても対処できるよう対策していきたいです。 また、備蓄品のサンプル配布などがあると購入品の参考になるかと感じました。</p>
36	<p>アンケートに答えながら平和ボケしているなあと感じました。 災害グッズ考えます…。</p>

37	アンケートに答えることで、備えているつもりになっていたけれど足りていないということに気がつきました。これを期に、我が家の備えを見直してみようと思います。特に、災害用伝言サービスの活用を検討してみます。 ただ、家の中での食料や水の置場所には限度があり、3日分はなんとか可能ですが、1週間分となると備えきれそうにない状況です。
38	アンケート回答しながら、備えに対する意識が低いことに気づいた。
39	いざというときにどうするか、機会ある毎に家族で話題にしているが、とっさの判断、とっさの避難のときになってみないとわからないというのが、正直な本音である。
40	いずれ必ず起きるから備えよ常に。 準備はしている。 ただ、周りの人たちは、井戸端会議はするが意味がない話で終わっているので心配している。
41	いつ、どこで被災するかわからないため（3. 11は、東京の事務所）、まずは帰り着くことだけ気になっていて、それ以外はその時もあまり被害もなかったため、気になっていないところではあります。
42	いつあるかわからないので日々備えています。
43	いつか来るとは分かっているながらも、日々の仕事や生活に忙しく、なかなか前に進むきっかけがありません。行政機関からの呼びかけ強化やイベント実施などできっかけを作っていただけると大変に助かります！
44	いつきてもおかしくない大地震ですが、なかなか準備が進みません。 東日本大震災でも困ったものですが、10年経って、その困り感も忘れてきています。ほどほどの地震があれば注意も湧き起るんですが、そんな都合よく天災が来ないこともわかっています。注意喚起を継続して発信してもらうことが少しでも足しになっていきますので、県からの発信の継続を期待しています。
45	いつでも起こるといふ頃からの気構えが大切だと思います
46	いつどこでどれくらいの災害が起こるかわからないので何をどれくらい準備していればよいかかわからないと思います。 避難場所には何人くらい避難できるのか、避難場所で水・食料は確保できるのか、避難所には電気はあるのか、衛生的にどうかなど、自治体で確認して県民に知らせてほしいと思います。
47	いつでもどこでも起こりうる災害で家族で話し合う必要を感じます。
48	いつも被災地の方を見ていて感じることは、避難必需品を持って逃げている人を誰も見たことありません。その余裕もなければ物理的にも不可能を感じています。自治体もしくは近隣の自治体同士が助け合いして、近隣の地方自治体が連携プレーするのが望ましいと日ごろから考えていますがいかがですか。
49	いつ起きても不思議でない大災害に対して備えが十分で無いのは承知しています。面倒、厄介が正直なところですよ。
50	いつ起きるかわからない。繰り返しアピールしていくしかない。
51	いつ起こるかわからないからこそ気の緩みが発生する。 ずっと気を張ることは難しい。 ただ、計画的に対策を実施する必要性は感じている。
52	いつ起こるかわからないので、災害に備える物や、家具の固定など、見直したい。
53	いつ起こるか解らない災害対策は本当に難しいです。 非常食にしても期間で入れ替える、分かっているても正しくできるかどうか…？ 避難所への手段も頭では分かっているても本番でどうか？自分でも本当にできるかどうか疑問だらけ。何回か訓練に参加したが、どうしても緊張感に欠ける。 これを機にもう一度考え直してみたいと思う。
54	いつ大地震が来てもおかしくないので、適切な備えをしていきたい。
55	いつ来るかわからないので備蓄や準備は必要だと思います
56	いつ来るかわからない災害しっかり勉強しておきたい。
57	いつ来るかわからない地震の備えの必要性は理解しているものの中々出来ないでいる。
58	いつ来るかわからない地震は本当に怖いんです。 災害に備えましょう。
59	いつ来るかわからない地震に備えることは難しいが、万が一のことを考えた備えをしたいと考えている。

60	<p>いまはオール電化と蓄電設備を準備していますがそれ以外のライフラインの復旧やスマホなどの新しいライフラインの復旧情報が分かりやすくなればと思います。</p> <p>また水の確保のため井戸が公園ごとに設置出来れば年齢性別関係なく取りに行けて楽になると思います。</p> <p>水は見た目以上に重たく足元の悪い状況で長い距離を移動するのは健康な成人男性以外は辛いと思います。</p> <p>井戸水に関しては飲料水としては使用できなくてもトイレを流したり身体を拭いたりするなど衛生面で必要になってくるので井戸の設置は各公園ごとにあればと思います。</p> <p>その他、雨水を利用するタンクの設置に関する補助など戸建て住宅が支援無しで独立できるような体制が整えば集合住宅へのフォローのみに特化できて対応が楽になると思います。</p> <p>東日本大震災以後に太陽光発電が普及して電力の自給率が上がった今、水源確保が1番やりやすく効果が大きいと感じています。</p>
61	おすすめグッズの紹介などをしてほしいです。
62	このアンケートで、改めて備えの必要を感じました
63	このアンケートで我が家は無防備に近いことが分かった。対策を進める。
64	このアンケートで少し災害に備える意識が変わった。
65	このアンケートを機会に備蓄品について調べて購入を検討しようと思いました。
66	このコロナ禍では講習会を開けないと思いますが、テレワークを普及する良い機会になると思いますので、何とか実現できないでしょうか。
67	この際このことについてもっと真剣に考えようと思った
68	この地域の避難場所に全員は入れるとは思えないのが心配。
69	これからの対策として、もっと十分な対策を考えたい。
70	これまでの経験と正しい情報を正確につかむことは難しいかもしれないが、自分の判断で行動するしかないと思う。毎日の生活から意識していきたいと思う。
71	これを機会に、我が家でできる対策に着手します！
72	これを機会に改善します。
73	コロナウイルスの影響の大きい今こそ災害対策に関心を持とうと思います。
74	コロナが一服したら 近所の公民館でセミナーしてほしい。
75	コロナと避難の難しさ。避難場所へ避難したら人数が多くなり、他の避難所を探す必要があったとの話を聞いた。不安です。
76	コロナ禍でもやるべきことはやってゆこう。
77	コロナ禍で震災が起きたら怖いと思う。特に今年来たら一巻の終わりだ。
78	コロナ禍のような時に大災害があったらどのように避難するか、備蓄品（マスクや消毒薬なども）含め、国民全員が考える必要があると思う。
79	コロナ禍の社会では、これまで以上に災害発生後の対応についてより細かいユニット内の情報伝達、対応についての情報伝達が重要と思います。ぜひ備えて頂きたいものです。
80	コロナ禍の初期、不安になって揃えた。東日本大震災から10年が経ち、地震に対する危機感は少し薄れているかもしれない。いまいちど備え、考えていきたい。
81	コロナ禍を含めた行政の防災対策の詳細を明示してほしい（地域別）
82	<p>コロナ禍を踏まえて避難所収容数の優先調整等のルールを明確化すべき。</p> <p>台風で避難警報が出ても、当然のように現状の避難所運営ではキャパオーバーし、完全カオスな状況になることはだれでもわかっている。</p> <p>特に地震災害では避難所区域内で多数の住民が一時的に住宅で生活できなくなるため、避難所では物資供給の拠点と急患受け入れが重要な役割となるはず。経済的に余力のある住民には独自にテントや燃料、水食糧の確保を啓発し、それに協力できる世帯を事前に把握・支援する。これを地域内の行動予測情報として活用し、災害発生時からのタイムラインで避難所の稼働ステージを設計するとともに住民へ周知する。</p> <p>中小河川のハザードマップも大切だが、本質的に必要なことは、住民にどのような災害が発生することで行政としてどのような支援をどこまで実施するかを設計すること。</p> <p>繰り返しますが、地震・水害など地域で面的に避難者が発生するため、自力避難困難者の総数の見積把握と、どこへのタイミングで避難させるべきか、物資・水食糧をどこに配置すべきか、といったことが共通課題である。少なくとも、地域住民・自治会（避難所区域単位）と行政で年1回程度の情報提供・意見交換の機会を作るなどでコミュニケーションを行うべきだろう。</p>
83	コロナ感染者の自宅療養には食料品の配布みたいのがあるようだが、地震の場合には食料品の配布みたいのはないのか？
84	コロナ対策から来る住民各自周囲情報との隔離が住民各自連携協力の利点を失わせている。この穴埋めが市町村の災害時役割の新しい任務として重要さを増してくるのではないかとされる。事前対策が求められます。
85	地元市は災害に合わない。思いつく災害がない。
86	スーパー等で東日本大震災日の2～3月辺りに買い備えセール等をして注意喚起していただくとうれしい。

87	阪神・淡路大震災を経験した親しい知人も多いので、特別な対策というよりは、「災害は忘れた頃にやってくる」を肝に銘じて日々暮らしているつもりです。
88	その時、自治体がどのような体制で、どのようなことを住民にしてくれるのか、住民はどのように待機して居ればよいのか広報して欲しいと思う。現状では全く分からないので。
89	それぞれが危機管理が必要だと思います。
90	だ埼玉なれど災害確率は最小県と慢心している。
91	できるだけ、災害用キットを準備したいと思います。
92	どうもイマイチ自分のイメージが希薄で、具体的な状況が想像できないのが理由
93	どこに避難するかは明確にしている
94	とにかく慌てない事です、
95	なるべく、家のものやメンテナンスは最小限に抑えて、その日の為に貯蓄してる。家にお金をかけても、大地震がきたら建て替えや大規模に修繕しないとならないので。もしくは、引っ越さなくてはいけなくなるかもと思うと、気軽にリフォームする気になれない。政府が自助とか言い出すし、頼りにならない。
96	なるべく、上から落ちて来るような物を作らない。置かない。を心がけている。
97	なるべく背の高い家具を買わないようにしています。そのために物を増やさないようにしています。防災用の備蓄ですが、以前は災害用を買っていましたが、レトルトを多めに買い、期限が切れそうになったら食べる、というローリングストックを知り、災害用を買うのをやめました。
98	のど元過ぎればというところで、いつも意識し続けることが必要です。
99	ペットがいるので避難の仕方が心配です。
100	ペット同行できる避難所が居住地区にないので困っています。今後設置や対策ができるのであれば詳細を知りたいと思います
101	ホームページがわかりやすく、イラストもかわいくて見やすく良かったです。対策について忘れて怠っていたので、反省しよい機会になりました。
102	まさに、のど元過ぎれば・・・で、東日本大震災から10年たち、危機感が薄れてきたように感じます。もう少し、準備をしなければと思いました。
103	また、前回のような災害があったら、今のコロナの時期では不可能なことがたくさんあると思う。
104	また、東日本大震災のような災害が起きたらと思うと生きた心地がしません。様々な対策を期待しています。
105	まだまだ、備蓄品のそなえがたりないですね。家のスペースが足りません
106	まだ一部しか転倒防止を行っていないので自分でも気になっています。安全重視が一番なのでしょうがどうしても見た目も気にしてしまいます。色々グッズを購入しているのですが取り付けてないものもたくさんあります。額に飛び散らないシートを張ろうと思っていますが高いところからおろして作業するのが面倒で進んでいません。格安で作業して下さるところがあったらお願いしたいくらいです。一人暮らしの方や女性だけのお宅では私のようにどなたかお安い費用で細々した作業して下さる方がいれば助かると思います。県で優良業者を斡旋していただけたら嬉しいですね
107	まだ家具類への転倒防止器具を設置していないが、今後の為に十分に調べ、取り付けたいと思う。(取り付けていなかった理由:転倒防止器具の種類が多過ぎてどれを取り付けて良いか分からない、値段が高価。)
108	まだ大丈夫との意識が働きなかなか備えができない
109	マンションなのでエレベーターに閉じ込められないように意識している
110	マンションに住んでいる。マンションを単位として自治会、自主防災会を設置、加入しているが、高齢者や独居老人が増えて活動自体の継続に不安がある。若い住民が活動に協力しないことも不安です。
111	マンションの11階に住んでいるが、震度6強でも倒壊はしないと聞いている。となると外に出るのはかえって危ないため在宅避難が良いとされるがエレベーターはしばらく使用できず、また排水管に亀裂が生じた場合トイレも使えない。水・食料も大切だが生活にはそれに劣らず必要なこともありどうしたらいいか困惑している。
112	マンションの管理組合でも備蓄はしているが、コロナを機に「炊き出し」の必要性を考える必要があると感じた。50食のアルファ米を炊き出しするより、一人分ずつのアルファ米をそのまま配布したほうが、安全だし、賞味期限が切れた後の配布もしやすいと感じている。コロナで避難訓練をしていないので、ノウハウが途切れないことを祈っている。
113	マンション自体震度6でも倒壊はないという設計だと言うことで購入したが、築10年を過ぎるとどうなるのか全く知識がない。大丈夫と思っているだけ。一応の食料品、水は備蓄しているが、さて本番になって機能するかどうかは自信が持てない。現在は自宅にいる方が安全、動き回る方が危険(年齢も年齢なので)と考え、巣ごもりすることになっている。離れた家族とは各自、最大限各自で生きのびる努力をして、早急の安全確認などはしないと決めているが、本番になるとどうなるかは分からない。

114	メディアなどに、いい加減な「防災専門家」や「防災士」が多くでているので、こういう人たちのコメントなどを安易に信じないよう自身でも知識を付け、自治体も正しい情報を流すべきだと思う。また、地震そのものの情報も不正確なものが多いので、自治体が流す情報（広報紙）を含め、様々な方に目を通してもらう必要がある。
115	もう少し意識をたかめたいと思う。防災グッズや対策など、県の方でチラシなどでPRしてほしい。無償で食料や飲料の提供もしてほしい。
116	もう少し備蓄品を増やすつもりです トイレが一番心配です
117	もしもの時の集合場所や連絡の取り方、災害用伝言板など、確認をしないといけないと思いました。
118	もっと、近所付き合いを大切にして、助け合える状況をつくっておかないといけないと思った。
119	もっと、自助が必要だと訴えてほしい！ 必要な家庭には水だけでも、定期的に配布するのも良いと思う。
120	もっと意識しないといけないと感じています。このようなアンケートもですが気づきが必要だと思うので周知してもらえるといいですね。
121	もっと埼玉県は地震への備えについて、テレ玉などで周知させたほうがいい。 あとは、地震に耐えられるように県の予算を増やすとか。
122	もともと地盤の弱い所に家があるため、道路を大型車が走ると家が揺れる位です。
123	やはり日頃の備えが大切ですね。
124	ライフライン備蓄への備えや情報を提供して欲しい
125	リスクが高いことは知っていても準備が足りてないことに気づけたので、このような確認が定期的にあるといいと思う。
126	ローリングストックがなかなか出来ず、うっかり賞味期限を過ぎてしまうことがある。
127	ローリングストックも大変
128	わかっているのですが十分な対応ができていないので機会を見て再度見直す必要があると改めて思いました。
129	わが家には90代後半の義父がおり、杖や押し車を使用しており、70代半ばの妻と私では避難が難しく、近所も高齢者や障害ある人ばかりで支援が頼めず、実際に起きた時に困る。通常の避難訓練ではこういう避難困難者も参加させての訓練はなく、これは乳幼児等抱えている家庭も同じであり、避難訓練の見直し改善も必要と考えます。
130	わが家は子どもがいないため、学校がどこにあるのかさえよく分からない。そうした人たちにもイチから、分かるように避難について教えて欲しい。
131	愛犬の食事、移動方法、自宅近辺の様子確認などは、夫婦で話し合っています。 非常用トイレも家に常備してあり、キャンプ用品も定期的に確認しています。 水を使わなくても使えるシャンプーも常備してあります。
132	以前、住んでいた地区は、個人の家を災害の時に備えて、2軒指定して、自治会費で保健所の飲み水検査合格のお知らせがあり、いざとなったら、そこへ行けばいいと知っていました。防災倉庫の食料をイベントの時、ボイルして試食して、サイクルさせていました。非常食が意外においしかったので、個人でも買い求めて、そなえてあります。いまの地区は全く何の情報もなく、地域差とはこういうものかとかんじています。
133	以前は大学にいる時間の方が長く、大学で地震が発生したときにどこに避難したら良いかは把握しているつもりだったが、在宅が増えたことで地域の避難場所についてはそこまで知っていなかったと気付かされた。 自分がよく行く場所については事前によく調べられるが、観光などで訪れる場合、そこまで調べていないことが多く、いざ震災が起きたときにどうすれば良いか分からないのではないかと思う。地域外からの人をどう誘導するかについても検討しておいてほしいと思う。
134	意識はしているつもりですが、まだ充分とは言えないと感じています。
135	意識を高く持っていきたいです。
136	一応対策はしているが、意識はしていない
137	一昨年台風19号による床上浸水被害を受けた体験から申し上げます。防災行政無線は、大雨で室内に居ると聞こえず、停電となり情報入手が断られた。情報の提供手段としてインターネットラジオ局の活用を願っています。埼玉県には、ナック5というFM局があるが全県を対象にしているので地域を限定した情報提供にはむかない。市単位の20W程の電波とインターネットラジオは、ラジオでもスマホでも聴くことができるので災害時の情報提供には最適と思ってます。
138	一人当たり最低限何があればいいか今一度確認できるものが欲しいです。
139	一人暮らしなので、何とかなると。
140	一度、食糧備蓄などの対策をしたが、その後賞味期限が切れたり、自己消費するなどし補充を怠ってしまった。なかなか意識を持続して持つことは難しいと感じます。
141	一番気にしてることは、ある程度の備えはしてるけど、いざという時に、落ち着いて行動できるのでしょうかね。パニック状態に陥ったら、自助のところか。自信が無いです。

142	一応用意しているがいざとなると、確保している物を持ち出す事ができるかどうか不安が、あります。
143	飲料と災害時用避難セット、カセットガスコンロ、ポンペを常備している。 麦茶は、麦茶ペットボトル2Lは2本以上常備し、常時古い方から飲用している。 水は、夏場に消費し買い替える。 今後そろえる物は、妻の避難用車いす、食料を備蓄したい。
144	飲料や食料、紙製品などは十分に準備しています。救急箱の補充や生活必需品なども用意するつもりです。家具転倒防止策は早急にします。また、伝言サービスの体験もやることにしました。
145	飲料水、食糧、の備蓄は必要と感じた
146	映画の「日本沈没」の中で印象的なシーンがありました。まだ阪神の震災の前の映画なので東京の大地震の最中で「関東大震災は火事で沢山の人が無くなったので火を消せ」と言うシーンがありました。その後の阪神では家屋の倒壊で亡くなる方、東日本では津波で亡くなる方が沢山出て地震によって被害の状況が変わるのでなかなか対策が難しいと思う。関東大震災が東京の直下型地震と勘違いしている人が多いが震源は神奈川県であった。「もう何年たっているから首都直下型地震がいつ起きてもおかしくない」と言う議論も信用できないが日本の場合はどこで地震が起きてもおかしくない。備えと言っても2~3日分の水食糧で十分と思う。それ以上支援が無い場合は壊滅状態であるのであきらめるしかない。
147	液状化しない、浸水しない、火事が起こっても延焼しない土地を選び、耐震構造で建築しています。 携帯ガスコンロ、水、食料を常備しております。 車はPHVで、非常用電源としても使えます。
148	沿岸部に住まない。住宅密集地に住まない。
149	屋外に出て、様子を見ることのみを考えています。
150	何とかなる
151	何の備えもしていない方は自業自得。
152	何も無い時にこそ、市民に対しての備蓄などをしっかり検討してもらいたい
153	何をどれくらい用意すればいいのか。 地元はマンションが沢山建ち住民が多いわりに避難場所は1か所。 管理組合の話だと、マンション住人は避難場所はつかえないとのこと。 全壊することが無いから、戸建ての住民用だと言われた。 避難場所に行けなければ、情報の入手やライフラインが停まった時に食料の配布があっても受け取れない心配をしている。 受け取れないなら自分で大量の食糧と水を確保しておかなければならない。 その辺をはっきり知りたい。 わからないので、何も準備していない。
154	何事も事前に準備と訓練が必要だと思います。
155	何時、何処で発生するか分からないわけですので、備えはとても重要な事と考えます。
156	何年前かに台風の時に避難所へ避難しましたが、実際に避難されていた世帯は家を含め2家族だけでした。避難したほうが良いのは解っていても、体調等を考えて家に留まる高齢者もいらっしゃいます。そういった方々が避難しやすいように整備も必要かと思えます。
157	家の中に高い家具を置かないようにしている。リビング、寝室には凶器にならないような重いものを置かないようにしている。マンションなので停電は水・ガス・電話が止まることにつながる。ライフラインをばらして管理できるといいと常々思っている。
158	家具の転倒防止については、無料もしくは低料金で設置をお願いできる機会があると幸いです。webで、防災セミナーを実施してくれるとありがたいです。
159	家具もそうですが、窓ガラスにも対処が必要だと感じています。なかなか腰が重くまたそれなりに費用もかかるので進みません。食料と飲料水も賞味期限が来て慌てて消費するような事を繰り返して億劫になり必要量は用意できていません。自己管理能力がかなり求められますね。このアンケートをいただいてしっかりしなきゃと改めて思いました。災害伝言板も練習してみようと思えます。
160	家具転倒防止は、すぐ付けたいと思います
161	家具転倒防止策として、家具は、普段から人の集まらない部屋で収納 寝室、居間等には家具を全て無くした。
162	家具等について・・・ ○造り付けの棚やタンスにするか、販売や購入の際には転倒防止グッズをセットとする ○アクリル板のような割れないものを使うこととする ○テーブルなどの下には滑り止めのグッズをセットとする 等のルールをつくり、押し進めていくことも大切だと思います。 食事についても、余剰分で廃棄される葉物野菜などを乾燥させたりして大々的に販売することも必要と思えます。

163	家族4人分の備蓄場所がスペース的にない。 どの様な物を備蓄するか調べる余裕がない。
164	家族が増えたので備蓄の見直しをしなければ。
165	家族が多いと備蓄も多くなります、なのであまり量を買って置くことができません。
166	家族が都内へ勤務しているの、待ち合わせ場所を決めるのが無意味である
167	家族との話し合いが重要であると思う
168	家族に障害者が複数おります。 現実的には避難所に避難するのは不可能と思われるので在宅避難しかないと考えています。
169	家族の間における災害時の連絡方法は大事ですね。これからは時々話し合うことにします。
170	火災発生への予防対策として、火の元の消化を確認する。
171	火災発生を想定して、水泳用ゴーグル、塗装用マスク、アルミ蒸着サバイバルシート（熱シールド用）等も家の2ヶ所に用意して居ます。又、カセットコンロ（ボンベ6本以上）も1週間は簡単な調理が出来る様に用意しています。
172	我が家はコンクリートの5階なので建物が壊れない限りいいかと思ってます。
173	我が国の地震対策はよくできていると思う。ただし、直下型で震度6以上となるとインフラが破壊されるため、一時避難所への収容が必要。 埼玉県は、川の氾濫対策が必要。 今後起きる、南関東地震については、避難民対策が必要。 廃校などを利用した、半年単位での生活基盤づくりか。
174	会社でも緊急時の事業継続計画なるものを作成したが、個々の作成であって社会全体が緊急時に、想定外の状況をだれがどう判断するか未知。行政としてどうされるのでしょうか？
175	懐中電灯、ラジオは用意していますが、それ以外のトイレ用袋や暖を取るもの、飲料、食料など十分に用意していません。 準備をして備える必要性は充分に感じていますが、何から揃えればいいのか分からず、そして保管場所もないので、どうしたら良いかなあと悩んでいます。
176	懐中電灯等の備えも必要
177	改めて何も準備していないことがわかった。 必ずすべきこと、できたらすべきことについて、周知してもらい、必要性を感じるものに対応していきたい。
178	改めて考えると自分は何もしていないので、何か行動を起こさないとダメだと思いました
179	改めて自分は地震について何も備えていないのを感じた。 「思い立ったが吉日」早速に備えをしようと思います。
180	海岸線が無いのが我が埼玉の特徴であるが、大きな川が何本もあり、油断は大敵だと考えています。ただわが市では、何らの情報もなく「何をどのように事前検討しているのか」は不明です。予想外の経験がない為に、最悪の事態を想定した計画や動員、誘導、避難などの訓練も年に1度くらいは大々的に（全市民動員規模）計画を立案しておくべきであると考えます。
181	皆3.11を忘れた気がしてならない
182	各市町村単位で災害にみまわれたらどうするのか マニュアルを その表現方法を 理解しやすい物を 決めておく 逃げるのか隠れるのか 生き残ったら知らせる方法は 動画を作り あなたならどうしますかと 選択肢を問い 災害に見舞われたらどうすればいいかを学ぶ力、考える力を持たせれば良いのではと私は考えています。
183	各自、自己完結できるように危機管理意識を持つことが大事。他人任せでは生きていけません。そこで、行政で面倒を見られる限界など知らしめておくべきだと思います。食料等の備蓄、ハイブリッド車を用いた電源の確保などだと思います。
184	各自が、災害に備えて普段から準備をしておくことが必要である。
185	各自治体でもっと、非常用の水や食料があった方が良くと思います。
186	学校での災害教育を神奈川県で受けていたこともあり、埼玉県の学校での災害教育は不十分だと感じています。学校での災害教育の更なる充実をお願い致します。
187	学校で抜き打ちの地震避難訓練をやってほしい。 大阪辺りで数年前に抜き打ち！で小学校の避難訓練をした映像を見たことがある。なんと、地震速報を聞いた子供たちのほとんどが正しくない行動をとったのだ。体育館にいた子供たちが慌てて教室まで走り、机にもぐる。そのまま体育館にいるのが正しいはずなのに。どんな状況でも、どこにいたとしても、慌てて教室の机の下に入ろうとする子供たちを見て、避難訓練のやり方を見直さないとならないと痛感した。ぜひお願いしたい！
188	簡単にできるということを広く宣伝すればよいと思います。
189	関東で震災があったら東京の人が埼玉に避難してくる可能性があるが、埼玉県南部はそのような余裕が無いため、混乱が予想される事が心配。
190	関東の都市部で3日以上備蓄が必要な災害があった時は、仮に7日以上備蓄をしてもダメな時だと思う。

191	関東大震災のような広域災害時における行政の支援物資の対応について、努力目標的スケジュールよりも最悪のケースを想定したスケジュールを挙げて、各家庭の備えの必要性をアピールした方が、実際に災害が起きた時の心理的な覚悟もできるし、それに備えた準備をしたいと思います。
192	東日本大震災の時、他市にいる子供たちに携帯で連絡したが繋がらなかった経験があります。
193	危機管理意識を 毎日 持ち続ける事が とても大事だと 思います。
194	基本は自助ですが想定される未曾有の大震災ではどこまで有効か？ マンション共用部は地震保険に加入しましたが付保率高いと保険金高い。補償は少ないながらもゼロより安心ですが…
195	気になっているが、つい先延ばしになりがち。
196	気力意欲等年齢の関係か欠如してしまっている
197	巨大地震が起きた場合、国や自治体だけでなく、地元の企業なども連携して助け合い出来れば良いのですが。
198	緊急地震速報は、各種アプリでスマホで無料で受けられるのに、インストールしていない人が多いと感じます。まず、公務員の方々から、全員インストールしてはどうでしょうか。そうでないと、民間や一般市民はついてこないと思います。
199	近くに大学の広いグラウンドがあり、避難が容易である。
200	近くの公園が避難場所に指定されているが、住民が全員集まると狭すぎる。
201	近々の地震を想定し、備蓄等積み増したい。
202	近所に一人住まいの高齢者がいますが、こういう人は誰がどのように避難させるのか、行政でマニュアルが決めているのか、住民が相談して決めるのか、よく知りません。認知症を患っている人、新型コロナウイルスで自宅療養している人など、さまざまな人がいます。まずは自分のことは自分ですということでのいいのでしょうか。
203	具体的な方法を教えてほしい。
204	靴を履きやすい、出入りしやすい箇所に用意！
205	突っ張り棒に対する信頼と利用は、むしろ危険です。あんなものよりは、高さをピッタリと調整した段ボールの箱の方が遥かに安全・信頼できます。
206	傾いている電柱が倒壊することにより、停電と道路の通行を妨げることが心配です。
207	携帯を持っていないので、いざ災害というときに困ると危惧しています。自分でも考えますが、県として、持たない高齢者へのサービスとして、対策を講じていただくとありがたいです。
208	結局は何も出来ないと思う 2011年3月11日も何も出来なかった
209	建て替えをした時、耐震住宅にしました。備蓄品も2人だけなので、少しだけ用意してあります。
210	犬が複数頭いるので公共のスペースには行けない。自宅が住めなくなったら、基本的には車中でやり過ごすしかないと計画している。犬たちと離れて避難することは想定していない。
211	県民の意識を徹底させることが重要である。そのために防災期間等、特定の時期に関わらず年間を通じて、大規模地震発生の危険や対策の重要性を広報することが大切である。
212	県民一人一人が防災意識をより高める取り組みを願います。
213	原発災害については個人では対応できないから行政で指示をして欲しい
214	現在の住んで居る場所は、台地で地盤は良いと思っている。ハザードマップでも確認している。また、避難場所にも近くにある。なお、トイレの水等は温水器のタンクの中の水を活用したいと思っている。
215	言われてみれば家具等の固定や食料の備蓄等足りないと感じました。置き場所を取るのでも今までしていないこともあり、アンケートに答えて意識が高まりました。
216	個人でも災害備蓄品に補助金などが出るといいです
217	個人で家族分の備蓄をしようとしてもかなりお金と場所がかかるし救援物資がくるまで持たないと思うので地域やマンション単位で食料を備蓄できると助かります
218	個人の備蓄よりも水道、ガス、電気や電車等のインフラが止まってしまうことの方が心配である。
219	個人個人が、自主的にできるところは備える必要を、もっと啓発した方がよいのかとも思います。
220	個人的には、「もう一度」、近辺の避難所の確認をしておきたい。
221	個人的に最小限の準備はしている。自治会（長）に地域的な取り組みを取り計らうよう進言しているが、無関心のまま約10年が経過している。
222	公園や学校、公民館に冷暖房の設置や発電システムを取り入れて欲しい。 ペットや幼い子供を連れて隔離避難出来る所、女性と男性を教室や部屋ごとに分けて欲しい。 災害時にある性被害の対策をお願いします。

223	公助が何がどの程度期待できるのか、自助として何をすべきか、どの程度すべきかの目安が判断できない。公助として何が期待できるのかを明らかにすべきである。
224	幸いなことに今まで大きな災害にあったことがありません。うちの近くに防災公園、避難場所になるような公園が近いので、家の中での備えも必要ですが、公共の指示にもしたがえるように思えます。
225	広報、広聴をしっかりと推進していただきたいと思います。
226	慌てないで行動する事が大事だと思います。
227	考えなくてはと思いつつ、今に至る。
228	行政は頼りにならない。 なので、尚更自助的な備えの必要性はかんじている。妻は家庭内の家事全てをやってくれているので大変ありがたい存在であるが、災害への備えの水と食糧について、定量的に考えていない。妻らしい備えの日数についての感覚であり、家庭内でキチンと議論するべきである、と思っている。
229	行政は十分に周知をしているので、実際に各自が備えをしている/いない、は個々人の責任の範疇だと思います。
230	郊外に住んでいて、避難する場所は自宅前に広い公園があるので、それだけでも安心感はある。非常食という特別な保存性を目的とした食品確保でなく、日常的に食している食品のストックは常にしている。またするようにしている。
231	高齢の世帯だと高い所の対策が大変だと思うのでそういう人的支援の相談窓口が必要だと考える
232	高齢者なので、特別な備えをしていません。今まで体験した災害でも、特別な備えを必要と感じなかった。
233	今、大地震が起こり、避難場所へ行っても、密になり、大変なことになると思う。避難場所を増やして欲しいと思う。 また、あらかじめ何人の人が来るのか、シミュレーションやアンケートで予想して、避難場所確保に努めて欲しいです。 そして、どの避難場所は、空いているなど、すばやい情報伝達や誘導のシミュレーションも各自治体任せにせず、県で確認して欲しい。
234	今はコロナで精一杯でしたが、地震の備えも怠らないように気を引き締めます！
235	今は新型コロナ対策を優先しています。長期に渡ることより目先のことに対しての対策をまずはやらないといけない。経済的にも同時に対策するのは現実的ではない。
236	今まで、大丈夫だったから、これからも大丈夫だろうと考えている人が多いと思う。東京は、防災について考えている人が多いし、行政も動いているが、埼玉は行政も個人も考えが緩いと思う。
237	今一度点検してみようと思います。
238	今回のアンケートで、家具の転倒防止をもう一度見直そうと思いました。また、災害用伝言板サービスが平常時に体験出来ることを知らなかったの、早速試し 家族と情報を共有したいと思います。
239	今回のアンケートで、災害時の備えについて改めて思い出すことができました。いろいろと用意することにしようと思います。
240	今回のアンケートによって緊急時の備えをしなくてはいけないことをより身近に感じました。今後できる限りの備えをしたいと思っています。
241	今回のアンケートにより、今後は地震の備えを面倒くさがらないように心がけようと思いました。
242	最近、頻発に地震が、発生しているで震度の大きいものが見受けられる。 そのため、家庭用の「ポータブル電源」を購入し、非常時の対応に一步前進している。
243	最近コロナに気を取られて地震については油断してしまっているので気を引き締めなおして備えたいです。
244	最近地震が増えています。やはり準備が必要です。
245	最近特に見かけなくなっているカード式公衆電話の設定場所の地図が欲しい。
246	災害ダイヤルの体験をしてみたいです。
247	災害による被害は、多岐にわたるので、まずは、自分自身にあった対策が必要と思うので、このことを徹底的に周知させるべきだと思う
248	災害に対する備えは必要だとも思いつつ、最低限の準備しかしていません。埼玉県として県民に啓発して行くのは非常に大切だと思います。
249	災害に備えて少々の飲料水と食料は備蓄していますが、どの程度が良いのか良くわかりません。
250	災害の確率が常に言われているので、日頃から地域住民との防災について確認しあっております。特に高齢者の一人暮らしの方については、日頃から安否確認を勝手に行なっております。いつも、防災や防犯には気をつけてがんばっております。
251	災害の備えをいかにしていないかを改めて考えさせられた
252	災害はいつ来るかわからない、家具転倒予防や水、食料など備蓄をしておくよう自分の甘さを感じ、さっそく準備をしたいし、家族とも細かい打ち合わせもしていく

253	災害パンフを全体の物とその地域の物を一体としたものを毎年発行してください。（地域のものは原則その団体が作る）
254	災害は忘れたころにやって来る、は、真実です。
255	災害は予想出来ないのが気がついた時点からこそこそやって居る。
256	災害への備えが未熟なのは、危機管理不足で反省です。 もっと、情報が欲しいです。
257	災害時、近隣の助け合いが大切。日頃のお付き合いが大事だと思う。
258	災害時、住める家があると、配給を貰えないと聞いたことがあります。 本当ですか？ また万人が知っている常識なんですか？
259	災害時には携帯や扇風機などが使えない状況になると思うので中型バッテリーを購入しました 寒さ対策も重要ですがこれからは暑さ対策に重点を置きたいです またペットもいるため必要なものは揃えておます 東京都が出したような防災冊子が欲しい
260	災害時に自分で自分を家族を守ることを教育しておく必要があると思います
261	災害時の食糧を多く買い足せば買い足すほどに、下着の衣料やその他必要分もあり、その分重くていざという時に背負って逃げるができるだろうか？と心配して1日分を少量用意。しかし不十分かな？とも感じる。
262	災害時は全ての物が無くなることは普通です。 災害時に人にはいる場所なんて分からないのも普通です。 通信手段が出来るのにも一週間以上かかります。 災害時にパニックらないようにする広報も日々必要だと思います。 準備しても連絡は途絶えます。阪神淡路大震災も、東日本大震災も、もっと教訓を伝える広報を考えて下さい。経験者を生かして下さい。 被災地は閉鎖されます。
263	災害対策グッズや非常食は価格が高いため、なかなか揃える気にならない。
264	災害対策として、懐中電灯を用意していましたが、最近チェックをしたところ、電池切れになっていたり、乾電池から液体が漏れていました。電池切れは乾電池を交換しましたが液漏れは懐中電灯も使えなくなってしまったので、液漏れ対応の旨い手があればと思っています。
265	災害対策の最少備えマニュアルを出して下さい
266	災害対策は大切なことだと考えさせられました。
267	災害対策は必要と思いつつ、延ばしたままになってます。
268	災害伝言サービスを体験してみようと思いました。 食料の備蓄はしていますが、地震に伴う火災などで焼失してしまう可能性もあるので、自治体に十分備蓄しておいてほしいです。
269	災害発生時の排泄物の処理やゴミの扱いについて、自治体の対処方法を周知していただくと準備ができると思います。
270	災害非常食を売っている場所が分からないので、県のHPなどに販売店を掲載して欲しい
271	災害用の食料水を各家庭に無料で提供してほしい。
272	災害用伝言サービス 体験します。
273	災害用伝言サービスを一度体験しておくとお実際に迷わず使うことができ有用だと思います。近いうちに体験しておきたいと思っています。
274	災害用伝言サービスを体験したことはあるがやり方を覚えてはいない。定期的に体験するような仕掛けがあったらいいのではないだろうか。9月頃に体験する機会があると思うが、その様な機会についてもっと周知を図る方が良いと思う
275	災害用伝言サービス体験会を開催してほしい。
276	在宅勤務になったため、夫婦はほぼ一緒にいる。恐らくこれからは仕事をしている人も家にいる可能性が高いことを前提に防災のあり方を検討することが必要になる。
277	阪神・淡路大震災の時に備蓄（乾電池や食料）したが、その後何もなく食料などを処分した 東日本大震災後には備蓄をしなかった。それはコンビニやスーパーがあり食料には困らなかったから。但し 経済は動いていたのでガソリンには苦労した 首都直下地震が来た場合は経済活動はストップするだろうから、ガソリンよりは水・食料と気候に苦労するだろう（東京の避難もあるかも） 食料の鮮度管理（賞味期限）が継続できるように仕組みを作る必要がある なかなか難しい問題だ
278	阪神大震災・東日本大震災の2回経験しているので、カバンに常に非常食（チョコレート）・バンドエイト・地図等を持って、会社へ出社している。
279	埼玉では既往、災害が少なかったため、災害対策はあまり切実感をもって行っている家庭は少ないのではないかと。小生も正直そのような感じで対策を行っている。 これではいけない、と思いながら。
280	埼玉は災害が少ないと思っているのであまり関心がない

281	埼玉県で非常災害時援護者希望者は登録名簿に名前他を記載します。が、民生児童委員がその方の家に出向くことも役場職員が優先的に救助するものではありません。また、援護を必要とする基準があいまいで自営をして毎日元気な方も75歳以上という資格があるため、要援護者に登録しています。他の市町村の一例では、避難所に一人ではいけない人が援護者登録しています。今後、高齢者増加の自治体で、今のような曖昧な援護者名簿は本当の災害時には稼働しないのではないかと思います。ペットを飼っている高齢者の比率も多くなっています。その点もまた曖昧ですね。
282	埼玉県の特産などをセットにしたユニークな防災セットを作って、県民には安く購入できるといった取り組みがあると、興味を引きやすいのでは？ また、年に一回、備蓄、消費を促す、お料理コンテストなど楽しめる企画も主催する
283	埼玉県の名産で、災害対策になるものを作り、宣伝するとよい。 草加せんべいの備蓄缶があることを最近知ったが草加まで行かないと買えないので不便。県内のホームセンターなどに置いて欲しい。
284	埼玉県は大丈夫と安心していましたが・・・ 災害はいつ来るかわからないので、備えをしておこうと思います。
285	埼玉県は地震を含めて天災事変の可能性が他県に比べて少ないと感じている。それではいけないと思うのだが、行政サイドから警鐘が少ないように思う。
286	埼玉県は津波もなくどこか楽観的になっていたが、食料買い占めなどもあったし、今後は非常時用食料を用意したい
287	埼玉県主催の災害訓練等に参加していますが、それでも東日本大震災のことを思うと、日々災害時のことを思いながら生活することが必要であると思います。
288	山奥の一本道の集落では備蓄は必要だと思うが、都市部の場合は自宅に過度に備蓄する必要性を感じない。どこで被災するかはわからないのだから。実際に東日本大震災時は私は都内の勤務先にて、翌日に帰宅。自宅の備蓄は一週間程度で十分ではないか（今後、在宅勤務率が高まれば備蓄は増やした方がいいとは思いますが）。それよりも、備蓄配布スポットが徒歩圏内で行ける程度にあちこちに点在してあることのほうが有効ではないか。
289	子供たちへの非常時の連絡体制を確立していきたい
290	子供の年齢に応じて備えも変えていく必要があるなと思っています。
291	市の防災講習会に毎年参加している。
292	市町村の定期的なPR活動を強化する。
293	市役所・公民館などに防災マニュアルを希望者が自由に入手できるように希望します。
294	私が自宅にいない時の高齢な母親のことが心配です。ご近所の方とのおつきあいをなるべくよくしておくようにしています。
295	私のように伝言サービスを知っているが、体験したことがない人のためにも、ただ紙とかで教えるのではなく、実際どこかで教えてもらえるような仕組みをしてほしいです。
296	私の地域の場合 周りに建物が少ないので被害的にはそうでも無さそうな気がします。ただ老人が多い地域なので避難などは手助けが必要だと思います。
297	私は、東日本大震災から時間が経ち、怖さが半減して準備が忘れがちになって来ているので、気をつけていきたいです。
298	私は介護職ですが緊急時に対応できる介護支援が絶対に必要です。 緊急時に施設介護職員は自身も被災者で施設維持自体が難しくなります。 逆に在宅・通所は機能自体が停止します。 その人材が融通し合う仕組みや医療のバックサポートに入る防災介護の組織化を提案します。
299	私は阪神大震災を西宮市で、夫は東日本大震災を仙台で被災しています。 そのため、やはり大地震は気になり、今回県内に移住する際もハザードマップは確認の上、移住しました。 食料飲料水の備蓄だけでなく、生活用水のため、お風呂に水を張っておくなど、気を付けています。
300	私自身が被災したのは25年前になるので今の状況とは違うかも知れませんが、食事や飲料よりもトイレが大変だった覚えがあります。 トイレに行きたくなるのが怖くて食べたり飲んだりすることを控えたりしました。 でも周りの人で食料飲料の準備をしててもトイレの心配をしていない人が多いなと感じています。
301	私自身は、免震マンションに住んではおりますが、実際大地震がおきて、ガス 電気 水道等が止まった場合、9階で、高齢の為 階段上り下りも殆ど出来ず、動きがとれないと考えております。
302	私自身何も対策をしていないことは、いけないことだと改めて思った。
303	事がおこらないと、なかなか実感できない部分もあると思いますので、日頃から啓発活動を県や市町村で継続的にお願いしたいと思います。
304	持ち出し袋の中身や災害時用の水・食料の備蓄チェック、避難場所や経路の確認など、やらなければならないと思いつつ、できていないことが多いです。これを機会に、見直したいと思いました。
305	時折、家族と話し合う事が大切だと思います。

306	自衛隊が来るまで3日はかかると言われています。最低一週間は自助出来るよう目標を立てています。
307	自治会等で定期的に安否確認を行い家族もその都度メールや通話にて確認しています。公的には市町村の広報による定期的な放送や避難訓練の励行をやって行くことが大事かと思えます。
308	自治体から定期的に、用意すべきものを配布してほしい。税金の無駄をなくせばできるのではないかと思う。
309	自治体の対応について明確に周知してほしい。
310	自助、意識低いかも。 もっと予防、備蓄して家族とも話し合います。
311	自助、共助、公助と総理大臣が言いましたが、これは順番ではなく、役割分担だと思うのです。地震に強いインフラ整備を進めてください。
312	自助に取り組んでも倒壊した自家に保存物などを取りに入れるのか、心配です。
313	自助の奨励を積極的に広報して下さい。
314	自助は災害時に於いては殆どの人にとっては無力、と捉えて行政は対策を取るべき。
315	自助は大切と思います
316	自助を行ってれば、全体の安全に公共の力の配分を重くできるので、中でも備蓄の徹底などは行っていただけると思います。
317	自助管理に努めます。
318	自身を振り返っても、地震国にもかかわらず、危機感が乏しく実際の行動が伴っていないのが現実。 TVなどで、もっと頻繁にアナウンスするべきと思う。
319	自然災害なので何時発生するかわからないので可能な範囲で備えつつ発生したときはその場の状況に応じて行動する事を念頭に日々過ごしています。
320	自然災害は「地域差が大きい」例えば、私の住んでる地域には「井戸」（漬け物屋さん等）が沢山あります。此の様な地域では水の常備よりも。。。ハザードマップから見ても「水害、崖崩れ」に関係ない土地も沢山ある。その様な事で「防災対策は一律で無く、地域や環境に応じて」きめ細かく指導すべきでは？
321	自宅での最低限の備えはしているが、長期化した場合の自宅避難者への物資援助、災害時のトイレ、また自治体のゴミ回収処理など（トイレの汚物含む）どのように取り組まれているのか、もっと広報して頂きたいです。
322	自宅庭にスペースがあるので何日か野宿できるように備えをしている。東日本大地震の時も揺れたがそれ以上クラスの地震が想像つかないので怖いと思う。
323	自分たちで何を準備しないとイケないか、避難所はどこにあるか等は、ネットや広報紙で情報を得ています。 しかし、公的機関が災害に備えて何をしてくれるのか（こちらが何を求めているのか）がわかりません。 市役所に限らず、公的機関の役割分担があれば知っておきたいです。
324	自分で防災準備をしなければいけないことは当然だと思います。 しかし日々の生活に忙殺され、中々進まないのが現状です。 自治体をもっと積極的に防災関係備品について 宣伝してくれると助かります。
325	自分というより、地域で助け合えるようにしていきたいです。
326	自分のことは自分で守る・・・を基本に対応していこうと思ってます
327	自分の身は自分で守るということを、皆分かっている。 何でも行政に責任を押し付け過ぎると思います。
328	自分の身を守るために3つの自助を周りの人にも伝えようと思いました。
329	自分の生きている間に、地震のない事を祈っています。
330	自分の命を守るという観点で、外出先でも間違いなく3日間は生き延びるために、最低限必要なものは自ら準備しておいたほうがいいと思います。水と簡単な食料、懐中電灯付きラジオを用意しておく、そんなに大きな荷物にならなくていいので、ぜひ身近な所に、常時持っていたほうがいいと思います。
331	自分はふるさと納税で、年に一度は被災地への支援をして、地震などの災害への意識を忘れないようにしています。現在のコロナ禍で、世論も災害への関心が薄れています。それでも、いつかは自分が被災者になるのだから、今からでも災害を忘れず、支援を続けたいと思います。
332	質問1の項目に「建物本体に備え付けの対策がしてある。」を追加して欲しい。建築業者側でも建物本体に備え付けの対策がしてあることを売りにしている所がある。我が家はその提案を採用した。
333	実感が薄いのでしょうか・・・今後気をつけます。
334	実際に大地震が起きた時にどこにいられるかわかりませんが、家族分の飲み水・食料は定期的に点検し準備しています。家族で共通の認識を持つためにも、時折話し合っておくことが大切だと感じています。
335	実際地震が起きた時を想定して、普段から備えておかななくてはならないと強く感じている。

336	首都直下地震が今後必ず起きるとされているにも関わらず、自分も含めてそれに対する危機感の低さが問題であると感じた。 災害時には行政職員の対応できる人数にも限りがあるため、自助・共助を促すための周知活動に力を入れるのは必要不可欠。
337	周辺の地理を確認しておくとうよいと思います。
338	就寝前にスマホを充電をしておくようにしています。ミネラルウォーターを箱で買い置きをしています。
339	集合住宅にすんでいるので限られたことしか出来ない。
340	集合住宅に住んでいるので、倒壊したら怖いな、と思うのと同時に、そうなった場合の補償や、もし近隣の住居に被害が及んだらどうなるのかな、と心配になります。 建物が無事だった場合にも、水を使うために電気が必要になると思うので、ライフラインの復旧が遅くなるのでは、という心配もあります。
341	集合場所を決めておこうと思う
342	住んでいる場所のすぐ前が避難場所指定であるので、それに甘えているかも知れません。
343	十分な備えとはどの程度の物なのかがよく理解できておらず、実際に備えができていない現状があります。十分備えている方は、自宅のどの場所にどのように備えているのかも知りたいです。
344	重い障がいのある家族がいるため、感染予防の観点からも避難所に行くことは現実的ではないと感じています。 そのため、できる限り自宅避難ができるようローリングストックなどに努めています。 感染症不安から自宅避難の人は増えるでしょう。 情報をいかにまんべんなく伝えるかが重要だと思われます。
345	重機 電動カッターの装備も各地区防災庫に備えては？
346	重要と認識していますが、後回しにしがちです。もう一度優先順位を見直します。
347	出来るだけ水、食料の備蓄を行いたい。蓄電池とPHV車からの電気供給が出来るようにしています。
348	出来る限り一週間分以上は備える必要があると思います。
349	小さい自信は結構あるので日頃から注意してます。
350	小学生の頃から言われ続けて、もうこの歳。生きてる間には絶対起きないだろうという気がする（慢心）。なにかテコ入れがいらしますよね。
351	小工事は中々業者がやらない為大型家具等の転倒防止の実施を行政支援で業者と提携し期間限定で実施することが望ましい
352	常に「備えあれば憂いなし」の精神です。
353	常に災害には備えないといけないと思ってます
354	常に準備している
355	職場や学校では災害に備えて避難訓練など行っているが、家庭では地域の防災訓練を年一回実施しているだけです。日頃の備えが大事だとわかっているのですが、なかなかできません。
356	色々やらなければならない事があると分かって、大変参考になりました。
357	色々な備えが必要なことが分かり、勉強になりました。
358	食べ物の具体的な必要量がピンときません。 水も1人3Lといわれていますが、どういう使い方で3Lなのでしょう？内訳も具体的に知りたいです。
359	食事、水の備蓄をしようと言われているのに災害の被害にあった状況を見てみると、何もないんですという声を聞く事がよくあります。 各家庭に1人分だとこれくらいの備蓄が必要だと現物を見せたら良いのではないのでしょうか。
360	食品は、いつもの食品を多めにストックしているだけなので、今回のアンケートでは備蓄していないとしました。 寝室の家具を減らしているなどはやっている。
361	食料・飲料の備えは必要だと改めて感じました 一人一人の努力が大切だと思います
362	食料・飲料水やアウトドア用品はそれなりに備蓄はしているが定期的に賞味期限等のチェックがなかなか出来ていないので少し心配です。
363	食料・水の備蓄以外に電気や燃料が使えるように備えるのも重要だと思います。
364	食料など準備して、つい古くなって捨てています。うまい方法を見つけるのは難しいと思います。生活の状況も変わるので、取りあえず最悪のことだけ避けられるようにと思っています。
365	食料の備え程度では、実際の地震時には全く役に立たないと思う。住民相互の繋がりが全くない時代になっているので、この面から何か考えていく必要があると思う。物は買えば準備できるが、人の心はそんな簡単ではない。
366	食料も期限が切れてしまっているものもあり、定期的に見直すことが必要だと感じました。

367	食料や簡易トイレ等備品も、もう少し備蓄を増やしたいが、保管場所がない。自治会で倉庫などを用意できないのでしょうか。
368	食料や水の消費期限を注意して買い替えないと！
369	食料や水や日用品はできるだけ備蓄しているが、危険防止はまだ自覚がない。訓練が必要だと思います。
370	食料や水を備えておこうと思いました。
371	食料等の確保も必要だが、停電への対応（発電機とかバッテリーとか）も重要と思う。電気が無いと被災時の生活が成り立たない。
372	食料品の貯蔵が非常に難しい。全部の食品が同じ時期で統一されていれば良いが、一覧表など作っておいても、見過ごすことがある。適当な時期に近づいたものを食べるなどして新しい物と交換すれば良いがうっかり忘れてしまうことが多い。特に年を取ると時間の過ぎるのが早くそれにすこしづつ痴呆がすすんでいるので。
373	寝ているところなどは転倒するものがないように配置してはいるが 優先順位としてなかなか震災の準備まで手が回らない
374	寝室などはそもそも家具は置かない様になっている。 キッチン、リビングなどは食器棚以外は倒れないくらいの低い物しか置いていない。ただ、今回のアンケートで、食料や、水をきちんと備蓄していないといけなると再確認しました。
375	寝室に背の高い家具を置かない、倒れやすい方向を考えて配置する等は気にしているが、家具の固定まではできていない。本当はやるべきだとは思いますが。
376	新潟に住んでいた時、仕事をしていた施設で訓練として伝言ダイヤルを使っていたこちらでも、同様の訓練などがあれば浸透すると思う
377	真冬の停電が怖いですね。 暖房も全て電気なので。 発電機も各家庭で用意すべきでしょうか？
378	神戸の親戚に地震の被害について聞いているので大震災のあとはいろいろ気をつけていたが、今は気が緩んでしまっている。 嫌なことは考えたくないので、地震の対策をしなくてはいけないのはわかっているが、毎日のんきに暮らしている。
379	震災直後は備えようと、心掛けるのですが、時が経つと気が緩んでしまいます。県の冊子やメディアの力で時折訴え掛けていただけると、有り難いです。
380	人間が生きていく必要最低な物資は常備して地震災害に備えています。できる事ならみなさんと守って日常生活を送っていったらと思っています。
381	水、食品の備蓄をする場合に消費期限を過ぎたものは廃棄しないように、ちゃんと消化しなければいけないので、どんなものを購入するか十分に考える必要があります。
382	水、食料の備蓄は消費期限を気にしながらやらなければならないので面倒であると実感しています。
383	水、食料以外の対策を知りたい。
384	水・食料etc. の用意をこまめに心掛けたい。
385	水・食料の他に簡易トイレ（処理するもの）も必要と、中越地震を経験した方にアドバイスを受けました。
386	水と食糧はもっと備えたいのですが、置き場所がなくてできていないです。 あと個人的にはトイレの心配をしています。簡易トイレを購入したいのですが、日々の生活に手一杯で金銭的にそこに回せません。 また転倒防止などもやりたいのですが（東日本の時にトースターが吹っ飛んでいったので）賃貸なので壁に傷をつけずに固定するとなるとそれも金銭的な余裕がなくてできていません。 とても気になっているのでもし配布とかあれば絶対使います。
387	水や食料など用意しなければいけないですね・・・。
388	水や食料の準備も必要ですが、トイレも断水した場合必要だと思います。 私は一応準備してありますが、市では、トイレの事は周知してないように思います。 非難所で、毎回一番困るのがトイレと聞きます。 食べれば、出ますので、それに気を使うようでは、と、それが、一番心配です。 避難所の収容人数に応じた簡易トイレ、断水しても、使える物を準備してほしいです。
389	水や食料を備蓄したいとは思っているのですが 金銭的理由で出来ていません。 年寄りも同居してるので少しずつでも 備蓄したいと思います。
390	水や食糧を備蓄していても、いざ大地震がきたら古家の我が家は潰れると思う。家が潰れても使える備蓄方法を思い付かない。
391	水食料等々くらいしか準備難しい。
392	正社員ですが、手取り16万円の生活をしています。 ここから光熱費、家賃、食費、消耗品、引いたらほぼ残りません。災害時の備えは難しいです。

393	昔から怖い物の一つに挙げられていたが、やはり地震がいちばん怖い。文明がすすんでもやはり予知予測はある程度しかわからず時間帯何日までわかるようになると不安が解消される。災害も軽くてむようになり、安心して暮らせる日が来ることを願う
394	先ず、自分自身の安全を確保する事が第一。他人のことに関わる余裕がないことがある。安全の確保は日頃からやっておくべきである。
395	前もって備えをするのは大変なことだと思いますが震災は突然やってくるのでもう一度見直したいと思います。
396	前知事は埼玉県にはもう道路は必要ないレベルまで整備できていると県のページで書かれていましたが 大雪の時 国道すら通行できず一週間我が自治体は出入りできませんでした スーパーには即席麺や乾麺はなくなり 水やプロパンガス 電気はあっても陸の孤島でした 峠が崩れて切り通しの法面が崩壊して出入り不自由なのに、復旧するまで何週間掛かった事か。県北部・県西部の人口は少なくても、密度は低くても 生活できる様面倒見て下さい。大雪の時 自衛隊に災害要請したの 埼玉県がずば抜けて遅かったですよ。西部北部は標高も高いし海からも遠いから逃げてきてもいいですが きっと道路が混んで大変でしょうね
397	全く、準備も含め”無防備”である。それは災害を身近に感じないし、又起こりえないとの過信である。この意識が危険であることは承知しているが、日常生活の中で明日の”防災”より、今日の生活を優先してしまう。
398	全国民が、意識知るべきです。
399	速やかなライフラインの復旧が重要
400	他人事のような考えが自分にあるので、あまり関心が無いと思う。
401	多くの人がスマートフォンで情報収集をすることになるので、LINEの公式アカウントなどで地震に関するコンテンツ配信を行うと良いと思いました。
402	体験する機会があればよいとおもう。
403	対策せねばと思いつつも、つつい後回しにしてしまうし、いざやるとしても何からやるか。となる。そんな人は少なくないのかもしれない。
404	耐震、制震対策をしていない建物が多すぎる。そういうやる気のない家は、固定資産税を多くとるとか、ペナルティを与えるべき。 近所にそういう家があるのは、災害対策として非常に迷惑。
405	耐震家屋にしました。
406	大きな家具やTVなどは転倒防止策を実施しているが、PCのモニターやプリンター、小型の仏壇など比較的小さいものは、なかなか方策がないものが多いため実施できていない。
407	大きな地震が起きないことを祈るのみです
408	大きな地震が国内であると、持ち出し用の水や食料の確認をするのですが、なかなか定期的なチェックが出来ません。毎年、確認する時期や日付を決めれば良いのですが。非常食の用意や転倒防止対策をやろうと思うとかなりお金がかかるので、つつい後回しになっています。
409	大きな地震が来たら避難場所の学校も逆に危ない可能性もある 家族と出会ってからしか避難する意味は無いと思っている 家に居ながら情報を貰えるような避難の仕方をルール化してほしい 家に居たら何もしてくれないと聞くのでそれはあんまりだと思う
410	大きな地震が来ないことを祈ってます。
411	大規模災害時の緊急避難先の案内が不十分のような気がします。
412	大規模地震（震度6以上）は相当混乱すると思うので自助で3日間ぐらいは水・非常食などを用意してある。薬も手元に残が少なくなったら（1週間程度）受診して処方・購入しておくようにしている。今までの体験から震度4クラスは被害がないので、慌てないようにしている。通電火災が心配されるので感震ブレーカーは設置した。避難場所や備蓄品などが避難民に対応していないのでとりあえず3日分は準備しておくことが肝要と考えている。
413	大災害は、いつ発生するかは予想できません。日頃からの備えは重要と認識しています。行政からの広報をしっかりと受け止めたいと思います。
414	大地震でも飲料水や食料は何とかなると思いますが、トイレの水や電気ガスなどのインフラが一番心配です。
415	大地震についての備えは、各自治体が、常にホームページ等で、啓蒙活動すべきである
416	大地震の際は、それだけでパニックに陥り、不安感に襲われる。地震がコロナ禍で起きた場合の混乱は恐ろしい。今までに広報されたかもしれないが、そのような場合の対処の仕方を時々広報していただきたい。

417	<p>大量の水や食料を備蓄しても、一定の期間が過ぎれば処分をせざるを得ず、いざというときに何がどれだけ役に立つかもそのときになってみないとわからないので、非常にむずかしいです。むしろ、非常事態が発生した場合、身の安全を考えて臨機応変に対応することしかないと思います。</p> <p>実際、10年前の東日本大震災のとき私は都内のオフィスビルにいましたが、まだコンビニが開いているうちに食料を買い、会社からの指示が出る前にすぐ退社したため、帰宅難民にならず家に戻ることができました（出遅れて会社に残っていた人は食べるものもなく事務所で一晚を過ごしたそうです）。</p>
418	<p>知的障害のある成人した子供がいます。普段はひとりで行動しているが、突発的なことへの対応ができないため、心配です。周りの人からみると、身体障害の人に比べ手助けしづらいので、災害時の公共案内は具体的にわかりやすくしてほしいと思う。</p>
419	<p>地域では自由参加で年一回避難訓練を実施しており、毎年参加をしています。災害に備え啓蒙活動も最近始まりました。備蓄倉庫が足りないので計画して欲しいです。</p>
420	<p>地域住民同士の繋がりを強くしていくこと、定期的に防災対策セミナーを開催することが大事だと感じます。</p>
421	<p>地域的に、避難場所に多数の人が、避難できるとは思えない。</p>
422	<p>地域防災の啓発広報を担当しています。イツモ防災のマニュアルブックは持っていますが、有料かつ著作権の関連かわかりませんが、地域啓発に勝手に使用できないのは不便です。</p>
423	<p>地元の市町村や自治会では準備しているらしいという情報はありますが、地震がいつ起こるかによって対応が分かれると思います。夜間、早朝、日中とシナリオを3、4ケース用意して欲しいものです。それによって対応が変わりますので。</p>
424	<p>地震、災害は予期しないで突然やってくる。 備えはしなくてはと思いました。 これから災害伝言ダイヤル1711に登録します。</p>
425	<p>地震＝火災を考慮するので、常に一体としての対策を行政にもお願いしたい。備蓄倉庫などの適正数・適正物品・スマホなどの充電体制なども考慮が必要。 災害時に使用可能な充電場所の増設・使用システムができると便利です。 現代は、家族が世界中に出向き、住む・出張する時代となっているので。</p>
426	<p>地震・防災はこれからも重要です。 行政でももっと積極的に地震・防災情報ネットワークを啓蒙・PRしていてもらいたい。 備えあれば憂いなしです。</p>
427	<p>地震がこないことを祈るのみ。</p>
428	<p>地震からの停電の恐怖がある</p>
429	<p>地震が起きた時に何処にいるかで変わるから特になし</p>
430	<p>地震が多い国であるので、いつどんな規模の地震が来ても慌てないように備えをするべきだと思っていますが、日々の生活が忙しく頭に思い浮かんでも面倒に思ったり、食糧や水も買い忘れてしまっています。自分には大きな災害が降りかかってこないだろうという気持ちかどこかにあると思います。3月11日は、怖く寒い思いをしました。家族ともう一度、色々と話し合う機会を持ちたいと思います。</p>
431	<p>地震などの災害により一定期間避難する場所について、私が住んでいる場所は、取り敢えず避難場所を設定したようで、非常に狭く近隣が殺到した場合の役に立たないのが実情です。避難場所については、実情に合わせた合わせた検討が必要ではないでしょうか。</p>
432	<p>地震などの災害は、いつ来てもおかしくないもので、本アンケートを含め、色々な媒体を通じて、時々伝えることが必要ではないかと、改めて思いました。</p>
433	<p>地震については、遅いけれど早急に家族で話し合っって考え、集合場所や避難場所を確認し決めていかなければいけないこと。 伝言サービスも活用していきたい。</p>
434	<p>地震についてはほとんど関心がなかった。 もう一度地震発生時に対する対策（手順も含めて）をおさらいをしたい。</p>
435	<p>地震に対する備えの啓蒙は必要だと感じております。</p>
436	<p>地震に対する備えは観念的にはわかっているのだが、実行できていないというか、何となく大丈夫だという気がしてできていません。</p>
437	<p>地震の規模で条件がまるで違う、と思います。埼玉では津波被害も無く。多少山間部はありますが。</p>
438	<p>地震の行政対策を知らない</p>
439	<p>地震の際にいろいろなこだわりのある人が少しでも快適に避難できるよう自治体で考えてください。例えばペット、例えばプライベートスペース、例えば音楽、わがままとは違ってそれがないと暮らせないという人は結構います。私はこだわりはありませんが家族はこだわりが強いです避難などということになったらストレスで病気になると思います。そうなるのととても大変なので、いろいろな状況に配慮できる避難対策を整えてください。</p>

440	地震の時は、自分で自分の身を守らないといけないので、食料の確保、電気、おもに火を起こせるものを確保しています。外の倉庫、家の中と分散しています。 気が付いたら、食糧を買い足して入れ替えています。長持ちする食糧、地震の時何が必要かなど、発信してほしい。
441	地震の備えで命を守る自助の取り組みについて、これまでの人生経験等を生かして埼玉県で、家族を含めて健康生活をしている、現在に改めて感謝申し上げます。
442	地震の備えは、個人では限界がある。 東京都では、立川市に防災管理センターがある。 埼玉には防災管理センターはない。 県北の熊谷市に、埼玉の防災管理センターをつくれればいいと思う。水は、県の行田浄水場があるし、緊急の給水ができる。 籠原には陸上自衛隊がある。熊谷市のスポーツ文化公園に防災管理センターをつくれれば、県南、都内に災害があったときに、防災基地になると思う。近年、コロナやテロ、自然災害など予想できない事故にまきこまれることがある。県南地区がやられたら、埼玉は終わりになるだろう。だから、熊谷市に災害対策本部があれば、救援にいけるし、県北まで被害はくる可能性は低いと思う。宿泊施設を兼ねた施設、防災基地、病院をつくるべきである。
443	地震の備えよりも地震の予知を確立して欲しい
444	地震は、予測が難しく怖いですが、でも、とにかく、少しでも万が一に備えて少しずつ用意しておきたいと思っています。
445	地震はあまり起きてほしくないですが、やはり、最低限の準備はしておきたいと思えます。
446	地震はいつくるかわからないので、事前の予報が必要。
447	地震はいつ起きるかわからない。充分注意をしよう。
448	地震はいつ起こるか分からないので、日常の備えが必要だと思います。
449	地震はいつ来るか、大きさも分からない分、常に念頭においておく必要があると思っています。でもたまに気を抜く時があるので、そう言う時が一番危ないと感じています。家の中には高い家具はありません。固定はピアノぐらいです。
450	地震は必ずあるとわかっていてもなかなか備えることが難しいと思えます。
451	地震は怖いけどすべて揃えたらお金がかかり負担になる。普段使わない缶詰やキャンパンは賞味期限が切れたあと使い道に困ってしまうなどの理由でインスタントラーメン、レトルトカレーのみ買ってある！
452	地震は予期せぬときに発生するので最低のことはしているつもりだが、実際は最高レベルの準備をする用意の必要性を最近感じているので近日中に準備します。
453	地震への備えがまだまだ不十分だということが良く分かりました。今後一つずつ解決してゆきます。
454	地震への備えが重要なこと分かりますが、具体的なやり方がよく分からない。
455	地震への備えについて、広報紙やメディアで見かける機会が増えて、いい事だと思えます。しかし一方で、「まだ機会が足りない」とも思えます。備えることが当たり前の日常、例えばスーパーやコンビニに行けばどこにでも「ローリングストック向け食品」がある、引越して間取りを検討すれば、洗濯機置場があるのが当たり前のよう「備蓄水置場」がある、みたいな、世間の認識が変わってくれば良いと思えます。
456	地震への備えは絶対にすべきだと思いますが、住居が山形なのでのほほんとしています。
457	地震への備えを初心状態で完全に維持していくのは難しいので、頻度を高くしての啓蒙が必要では。
458	地震や水害によっても避難方法や必要な物品が異なり揃えるのが大変ですが講座を聞いたりしながら少しずつ揃えています。現在は身近な問題という意識もあり体験してみる機会がもっとこれからも身近にあるといいと思えます。
459	地震や他の災害に備えてというより、コロナウィルス感染対策で自粛が続き、水やお米を常備するようになりました。 行政でサポートしていただける部分があるにしても、ご近所さんは高齢者ばかりなので自力でも準備しなければと思います。
460	地震後、停電になれば給水が出来なくなります。そうすると風呂の水（トイレ用）を溜めておく、などこうした方が良くと思われる事をどんどん発信して欲しいです。 情報の選択は個人で出来る事だと思います。
461	地震後、倒壊しなくても停電が発生した場合、マンションの水が出なくなるのは広く知られるべき
462	地震国・日本に住んでいる以上、地震への備えはしておかなければならない。家庭で出来る3~4日分の蓄えはしているものの、ライフラインが大きな損害を受けた時、数週間~数ヶ月という対応には国や自治体の助けが欠かせない。 そうした情報も常にアップデートして頂くと共に、いかに情報へのアクセスを簡単に出来るようにするかも、取り組んで頂きたい。

463	地震国日本であることは国民誰もが知っている。それなのに住宅が密集している。隣宅との距離を長くする住宅政策をとる必要があると思う。
464	地震災害は建物の崩壊、樹木の倒壊さらに火災の発生等尊い人命の危険性があります。日頃からの油断しないで、準備をしておくのが大切だと思います。
465	地震災害後のライフラインの生活補償の対応策を強化してほしい。
466	地震時に避難場所で生活ができるのだろうか？食料や飲料が避難場所に届くのかどうかよくわからない。
467	地震時の経験からただじっとして収まるのを待ってます、何もできません。福井大震災の時地震と同時に庭に飛び出して、畑に逃げました、その時積んである薪が倒れてきてよけて避難しましたがあの時薪で怪我してたらと思うと動かないのがいいと思った、なのですぐに布団をかぶり、またはテーブルの下にもぐり、やむのを待つことにしました、東北の時も布団かぶってじっとしてました、ものが落ちる音、天と地がひっくり返ったような感じの中で終わるの待ちました。これがいいと思いました。
468	地震対策をしなければ、と思いつつ、つい後回しになっていることを反省した。賃貸住宅では壁に傷をつける耐震の工夫が難しいのが悩みどころ。
469	地震対策を取った所である様にしかならないのが現実。家を建て替えるにもお金が掛かるのでしばらくは無理。
470	地震直後は考えないといけないと思うが、すぐ忘れてしまう。災害用リュックは用意しているが、連絡方法や家具の配慮などもっと危機感を強めなければならないと思った。スマホが使えないことも考慮し家族の連絡方法を改めて確認しようと思う。
471	地震発生時に居住地区でどの様な事態が起こりそうかの想定を、より具体的に・地区単位で、住民に知らせる事で、住民の心構えがかわると思う。
472	地震怖い
473	地震保険に入っています。
474	地震保険金額が高くなり いざ でののかと心配です
475	地盤の強さの情報を取りまとめて公開し、さらに地盤改良を進めてほしい。
476	地方転勤、勤務が多くあったため、地方の地域連携と埼玉県との違いについて感じたこと書きます。地方は近くの小学校や中学、高校を避難所として地域の老人会から幼稚園児、社会人まで災害時の集合場所が明確になっていて、迷う事は少なく、転勤族でも避難所は理解していました。しかし、さいたま市のような政令指定都市は、範囲が広く、重なり合っているエリアも多く、指定されている避難所に本当に全員入れるのか、少し不安があります。避難所の周知も地方都市に比べPRが少ないように感じています。防災無線も聞こえるのですが、内容がよく聞き取れないことが多々あります。無線機の設置間隔が地方の方が狭いのかもかもしれませんが、地方都市の方が良く聞き取れました。区役所においてある防災マップ等々とても整っていると思いますので、防災PRを老若男女、隅々まで伝えられるようもうひと工夫あると、もっと住みよい、魅力ある街になっていくと思います。
477	置き場所が無いのが問題点です
478	築35年以上の一戸二階建ての家ですが、先の東日本大震災時も無傷で、備品の破損もありませんでした。年齢的にも今の備えで済まそうと思っています。
479	蓄電池が欲しいけど、高すぎます。
480	昼間都内にいる県民の行動はどうするのがいいのを知りたい。
481	家具、書架棚を固定する丁度よい器具が販売されていない。
482	町内会で役員をやっているが、市や県の防災に関わるお知らせが一度もなかった。回覧板はお年寄りに注意を促せる貴重なツールだと思うので、防災やコロナの注意点、防犯対策など少し情報提供してもいいのでは…
483	超高齢化の時代を迎えて、独居老人・何らかの障害をお持ちの方（認知症含む）などのフォロー体制と地域での住民による総合扶助の強化。シングルマザーの年少者家族への災害への指導と子弟への教育（防災含む）。防災マップ等はとても良い広報だと思います。今後も折に触れ各自自治体からの広報は続けて欲しい。
484	長期保存できる品は高価だと思う
485	賃貸アパートのため、備蓄があまり出来ないのが心配です。特に水はかさばるので、難しいです。
486	賃貸住宅の家具転倒防止について、埼玉県として補助
487	通学場所や、通勤地が近場では無いので、何かあった時は、会えるかが心配。何かあった時に、連絡が取れるようにしておきたいと思っている
488	通信インフラはすべてが安泰とは限らないので、いくつかのオプションを用意しておきたいと思っている。
489	通信の確保をお願いしたいです。
490	停電時の電源を確保（自家発電機）している 車には常時ガソリンを満タンに近づけている（移動用、電源確保、暖冷房） 風呂の残り湯は常に一杯にしている（トイレ、洗濯に利用） 大きめのブルーシート4~5枚 およびロープ テント

491	天災は忘れた頃にやってくる。 大事だよ、こう言うアンケートで促すのも。 国のCMで月に数回全国に流すと良いね、災害時のイロイロを。
492	天災は忘れた頃にやってくる。水と食料をたくさん買い込み準備しています。
493	転倒物を避けるための工夫をしています。 寝室には置かないなどです。
494	伝言サービスなど、年長者には難しいと思う。簡便に年長者にも使えるような何かがあるといいと思います。
495	田舎なので、あまり大きい地震があっても何とかかなる気がして、準備をしていないので、何も無い事を望みます。
496	田舎なので命は守れてもその後の生活にはかなりの不安がある
497	田舎住まいのため、自身の危機意識が薄いことを反省している。
498	電気・水道・ガスが止まると本当に困ります。小中学校とかにある程度の規模の防災倉庫を設置し、そこに自家発電装置とガソリン、電気を使わないストーブと灯油、雨漏り補修等に使う青色ビニールシート、ベッド用の組み立て式ダンボール、懐中電灯と電池、台車、簡易トイレ設備等を常時準備しておけないかと思います。 また、お年寄りには給水車から水を受け取っても持ち運びができません。色々なお手伝いをしていただけるボランティアの方の登録制度とかがあれば良いように思います。 私は、東日本大震災が発生してから三日目の月曜日に高速道路を使って都内から仙台市内へ物資を届けに行った経験がありますが、都内のほとんどのスーパーにはパンやおにぎり等の食料品及び水関係の在庫がほとんどありませんでした。 緊急時には買い占めを防止する対策も必要な気がいたします。
499	電気を作る発電機等の助成をして欲しい。
500	電源確保を気にしている。冷蔵庫、ラジオ・テレビ、スマホ用に乾電池だけでは不安。安い太陽光発電がほしい。また、町内に共用のものを用意できないか。
501	電信柱の地中化をお願いします
502	電池・燃料・薬品・ガソリンなどもいりますね。
503	電柱が傾いている所が多々あり、地震で倒れそうで怖い。
504	東京直下型の地震では、被災者が埼玉県に多数避難する事が予想されます。 そうした場合に備えて県や東京都はどうした対策を取っているのか？いないのか？
505	東京湾直下地震が、いつ起きてもおかしくない状況なので、とても心配です。水、食料は、使いながら保存するという方法で、備蓄しています。でも、自宅の破損状況によって、それが実際に使えるのかどうかは、全くわかりません。避難所も低い土地に有るので、津波が起きたら（千葉県）完全に水没すると思います。生き残れる気がしません。
506	東日本大震災から10年、段々忘れかけてます。再度、教訓を思い出したいと思います。
507	東日本大震災から10年が経つことを踏まえて、大規模な防災訓練を実施すべき。
508	東日本大震災のときは携帯電話からの発信ができず、近くの公衆電話からの電話がつながりました。 それから10年。コミュニケーションの方法も変わりました。以前は電話が主だったので伝言サービスが便利でしたが、現代にあった災害時コミュニケーションの方法を考えるべきだと思います。
509	東日本大震災の経験を生かして普段から水、食料、簡易トイレなど最低限の準備は行っています。 住んでいるマンションも防災訓練などを徹底しています。「備えあれば憂なし」を心がけています。
510	東日本大震災の後、食料と水（飲料水と飲料水以外）を3日分確保するようにした。最近は大規模台風が発生するので、より必要性を感じている。
511	東日本大震災の後には家族で話しましたが、どうしても時間が経つと徐々に危機感が薄れてしまいます。防災の日に改めるといいのですが、マンネリ化してしまいます。
512	東日本大震災の際に食料や日用品の調達に苦労をしたので、なるべく備蓄を増やし日頃からローリングして使用するようにしている。 マンションと一軒家でも必要なものが違うと思うので、水食料以外に簡易トイレや水を入れるタンクも用意している。 自分から調べないとわからないことも多々あるので自治体でも積極的に情報発信をしていただきたいです。
513	東日本大震災の時に感じたことなのですが、マニュアルがあると人は動かしやすいけれどマニュアルから外れることを極端に恐れて臨機応変に対応できないといったこともあるので、平時から責任の所在を明確にして災害時は細かい指示体系で柔軟に対応できる仕組みが必要なのではないかと思いました。

514	東日本大震災の時の恐怖と停電等の不便さを段々と忘れかけているのが実感。東南海地震がいつ起こっても不思議ではないのに、此処は地盤も固く、荒川河川敷からは高まった土地なので水害の危険度も低いと、本格的な防災意識が薄れているのは問題だと思う。備蓄だけは意識しているが、ハザードマップもさっと目を通した程度でまだまだ不十分。今回、市から大型のマップが届いたので、しっかり地元の状態を把握して家族とも共有していきたい。
515	東日本大震災の時は携帯電話がしばらく使えなかったのでその対策が重要です。
516	東日本大震災を福島県で体験しました。私の家庭は運よく電気、ガス、水道が平常通り供給されましたが、周りを見るとトイレの水に困っていましたよ。水道が止まった家庭は放射能を浴びた川の水で流していました。トイレの水確保も必要なものの一つと考えるべきです。
517	東日本大震災以来、自助意識は相当薄れているので、何は市町村や県のサポートがあって、何は自力でしか対応できないのか、知りたいです。
518	東日本大震災の時に仙台に住んでいました。震災の二日前に震度4くらいの地震があって、小さな津波がきました。その時に、結構恐怖を感じたので、備えをしようと思っていたのですが、間に合わず震災の日を迎えてしまいました。私のマンションは、仙台市の中心地にあり、大きな被害は避ける事ができたのですが、やはり電気、ガス、水道はすべて止まってしまったので、非常に困りました。特にお風呂の水を抜いてしまっていたので、トイレの水に困りました。幸い我が家は、電気と水道は一日で復旧したので、助かりましたが、ガスが復旧するには1ヶ月以上かかりました。震災の夜、必要に思ったのは、食べ物と飲み物はもちろんですが、手元を照らす灯りです。街が全て停電で真っ暗でしたので、夜はとても不安でした。備えの中に懐中電灯は、必ずあるといいと思います。ろうそくは、ずっと余震があるので、怖くてつけることは出来ませんでした。あと、可能ならばお風呂の水は抜かずに入れ替えるときまでとっておくといいと思います。トイレ用にしたり手を洗ったり、使うことが出来るので、飲み水を使わずに済むので。
519	東日本大地震は、いつ、自分に降りかかるか分からないので、いつもできることはしようと思っています。小さなことですが、携帯電話のバッテリー充電を常にしておく事や、車の中にはスニーカーや膝掛け、袋を常備しています。
520	東日本大震災で震度5弱を経験しており、ある程度被害状況が判断できますが、自分宅以外の内外で震災時の体験を思い起こし車の燃料を常に満タンにしておく。又、インフラ確保のため、灯油の確保、水はペットボトル2ケース保存、マスクや緊急手当て用医薬品、ヘルメット等物置にとってある。又近くに浄水場があるので緊急時の取水をできるように構内に入所していけるように役場に確認している。
521	東北大震災の後は、色々話し合った。しかし「のど元過ぎれば熱さ忘れる」。最近では災害時の家族とのコミュニケーション方法を決めてなかったことに気がついた。171のやり方も忘れてる。「災害は忘れたころにやってくる」コロナだけではない。災害時のみ動く災害用伝言サービスをもう一度確認してみようと思う。9月1日だけでなく行政からも折に触れ情報提供してくれると助かります。
522	東北大震災を気に地震と、対策への意識は高まりましたが、まだまだ、日々の忙しさから、対策を後回しにしてしまいます。街の広報等を通じて、対策に取り組んでいきたいと思っています。
523	当マンションの理事会で、備蓄などの話し合いを持っています。各家庭だけではなく、地区やマンションなどの対策対応も行政として指導していく必要があるのでは
524	当初は食料など備蓄していたが期日オーバーで取り換えが面倒のためそのままにしている。
525	逃げる用意だけはしています。
526	頭の中では対策についていろいろ考えているが、実行に移していない。
527	動物がいます。集合避難所には長くはいれません。
528	特に、いま、仮に、首都圏に、大地震が襲来したら、行政も、民間、市民生活も、破綻すると思っています。エライことになると存じます。
529	独自の通信網を構築すべきでは。自衛隊のように。
530	難しいとは思いますが、企業・団体規模ではなく自治体規模の避難訓練をときたま行くと良いと思う。
531	日頃から、やっておかななくてはいけないとは思いつつ、なかなか自分からはできないのが現状です。
532	日々の生活に時間を取られて準備に時間を取れない。
533	日々の備え。
534	日本の各地で地震が起きる度に備えは充分にできているか心配になることもあるが、これらも備えはしておこうと思う
535	日本は火山大国なので各種防災の備えを全国の自治体が行うのが当然です。一日も早く官民一体で防災の備えを完備するようにしないとイケないと思います。
536	日本は地震国なので、日ごろの対策が重要ですね、このアンケートを機会に、家族で話し合い、意思統一をして、対策をしてまいりたいと思います

537	日本は地震大国で有りながら、その予知予測の信頼性が乏しい為、その備えに対する危機感を感じない。地球温暖化に伴い、世界的に大災害が発生しているが、地震に関しては、国の総力を挙げて予知能力を上げる策を強化して、国民にその方向性をきちんと示すべき。自然災害だからしょうがないの概念を捨て、国の最も重要な課題として将来を見越した舵取りを政府に要求すべきと考える。上記大地震では福島原発の事故も併発した。唯一の原爆被爆国が原発で被爆した。日本は大恥をかいたことを肝に銘じて、地震の予測精度向上に徹すべき。備えの徹底は予測精度を上げて、国民を納得させることしかない。日本の威信にかけて推進すべき。
538	日本人の国民性のひとつとして、災害時にも冷静さを失わないことが、巷間あげられています。
539	配水用のタンクは用意している。
540	買い占めの恐怖しか無いです。
541	発生しないことを願う
542	比較的安全だということで、この地をえらびました。でも、備えはひつようだと感じています。
543	比較的地盤のしっかりしている場所なので、大丈夫と思っていますが心配はしています。備えあれば憂いなしで対応したいと思います。
544	被災状況がわからないので、何とも言えない。その状況に応じた対応を考えられるよう、シミュレーションしておく必要があると思う。まずは安全が確保できるかはどこか考える。
545	避難をしたら行政のお世話にならなければならないが うちの地域の行政はとても頼りにならないので 自分たちで何とかしなくてはならないと思う しかし、備蓄が賞味期限などで切れると 経済的な負担が大きく揃えるのが厳しい
546	避難訓練のように、各家庭でも実際に非常食を用意して食べる日や、伝言ダイヤルを体験してみる日、などがあると強制的でも試してみたいと思います。各自治体や町内会ごとでもいいので、実際の避難はこんな感じなんだ、と体験できるといいと思います。一人では腰が重くてなかなか取り組めないことでも、学校の課題だからと親子で取り組んでみたり、老人を抱えているご家庭ではどんなふうに寝室の家具の転倒防止をしているのかを実際にみてもらう機会があればいいなと思います。
547	避難所で起きる諸問題（トイレ、女性の安全と配慮、体育館雑魚寝の悪環境等）に対する改善策は十分に検討されているでしょうか？ 他の自治体で起きたことを教訓に、事前に対策を講じられないようでは無能の誹りは免れません。 検討している、では駄目で決めてください。
548	避難所となる学校や公園の老朽化が気になる
549	避難所に、ガスコンロ＋スプの元（お茶は空腹を紛らわさない）があれば諍いが減るので、準備して置くと役所の人は楽かもしれません。
550	避難所に動物を連れて行けるようにしてほしい。
551	避難所に入れなかった友人の話を聞き 親子二人用のテントを買いました。 東北地震の際に 電車の中に一日閉じ込められた母の体験から、通勤バックには 飴と小さなペットボトル、70Lゴミ袋（割いて下に敷く、暖を取る、カップになるなど何でも役立）が入ってます。 実際に被害にあった人の話を聞くのが 一番役に立ち、地震への意識改革になります。
552	避難所のリアリティある運営方法について埼玉県としてそれぞれに丸投げすることなく統治する責任を果たすようシミュレーションしなければならない。小中学校は国民の教育を受けさせる、受ける義務を果たす場所であり、公共施設としては同じではあるが、避難者が宿泊する場所ではない。公助として民生委員などを中心にあらかじめ生活弱者を優先に順位を定めその順で宿泊施設を確保し学校は最悪でも避難物資配布中継所以上の役割を持たせないと決めることが重要であると思う。学校＝避難所にするのはあまりにも行政ノープラン。今後は自宅避難をすべての基本とする英断と県政告知を待つ。
553	避難所の運営に関する指針（新型コロナウイルス感染症に対応したガイドライン）が策定されていると思いますが、地震被災時に問題なくスムーズに実施できるのか、どのように点検されているのでしょうか。 市町村、もしくは町会単位で行政主導の災害避難の模擬訓練を実施していただけるとありがたいです。
554	避難所の中には先日の水害で避難できなかった場所があるので見直しが必要だと思います。
555	避難場所が建物の地区と、公園などの屋外の地区があり不公平さを感じます。 屋外の場合は一晩過ごすのにどうすればいいのでしょうか？
556	避難場所での生活に不安を感じているため自分で出来る事は準備しないといけないと考えているが、なかなか準備が出来ていない

557	避難場所に親を連れて行くのに徒歩では行けない そんな時はどうしたらいいかを考えていたら 避難する事すら無理かもと思うようになった 親がわがままで他人と同じ避難場所で生活出来ないから置いていけと言われた 私はどうしたら良いかわからない
558	避難場所の確認や、家族との連絡方法の確認を常に知っておかないといけない
559	避難場所の徹底と避難先での収容人数と食料品の配給有無、提供サービスの内容等を明示してほしい。避難先で入場を断られるのは悲惨です。
560	避難場所はいくつかあるが、行くまでの道のりは歩くことになるので、分厚い靴とランニングシューズは意識して準備している。
561	非常事態に備えてトイレの対応が緊急性が高いと聞いています。その用意を検討していません。質問事項がありませんでした。
562	非常持ち出しの中身を1回/1月点検をしている 乾電池の予備保管とオイルランタンの自作で備えている
563	非常時に持ち出すものを一まとめにしているかと言うと、別々に置いていることが多い。それで良いと思うが、緊急用だけでも一まとめにして置き、月一回点検するなどの習慣を身に付けたいと思う。(なかなか難しいのですが)
564	非常時の備えが必要であることは理解しているものの、いざ用意しようと思っても保管場所や費用、消費期限がきたときの買い替えなど、そういった手間を理由に後回しになってしまう。危機意識は、時間が経過するほど薄まってしまうので、継続的な啓発活動や事例紹介などを行うことで、再認識するきっかけになると思う。
565	非常時や災害時の対応が不十分なのでもっと真剣に対応するよう心がけて行きたいと思います。
566	非常食や水を備えていても、家にいるときとは限らない。出かけるときはバッグに飴やちょっとしたお菓子を常に入れてあります。
567	非常食等もそうだが、電気が止まることへの備えもすべきか悩んでいる。 市区町村で、電気が多少使えるような備えをしていただいただけだと非常に助かる(充電など)と思う。
568	非常袋を用意しておいた方がいいとは思いますが家族の人数が多く準備しきれない。何をどれだけ用意しておいたらいいか、詳しく教えてもらえるような冊子などを各家庭に配ってもらえると良いかなと思います。
569	備えあれば患いなし。と言いますが、保管場所が潰れたら利用できない。 悩むところだ。
570	備えあれば憂いなしですが、なかなか備えができていません。 また、貴重品の持ち出しなど、リュックに用意して置くことが大切と認識していますが、行動に移せない状況です。
571	備えあれば憂いなしの例えで日々必要なものを追加することが不可欠です!
572	備えが必要だと思うものの、一人暮らしだとまいち切迫感がありません。また家が狭すぎて普段使わないものを置いておくスペースがありません。
573	備えする必要性は感じている。対応を促すきっかけが欲しい。
574	備えないといけないと痛感しました。
575	備えなきゃと思いつつも手間や値段の高さに腰が重くなるばかり。食品、水は一時用意してたことがありましたが、消費期限が切れそのままです。また、食品類は結構値が張るのがネックですね。
576	備えなければならぬのはよく分かっていますが、正直、水などの体積の大きいものを置くスペースが部屋にないのです。トランクルームに水を置いておいても仕方ないですね。
577	備えは大切だと思いますが、決めた場所に食料・飲料・電池等の備えはしていない。家の中にそのような場所を確保することが必要かも知れません。
578	備えは必要 準備するのは結構大変 女性一人で家族分は、厳しい
579	備えは必要だと常日頃感じてはいますが、なかなか実行出来ていません。 必要とされる3日分の量は、よく提示されており解りやすいとは思いますがいざ揃えると莫大な量になり、保管場所に苦労しそうです。 早急に揃える必要性は感じています。
580	備えは必要です。最低限必要なのは家具の転倒防止と水の備蓄ですね。食料は我慢できません。
581	備えは必要ですので再度考え直したい。
582	備えも大事ですが近所や友人との付き合いも大事と思ってます。
583	備えるにはどうしてもお金がかかるので、後回しにしてしまうものもある
584	備蓄するものに対する補助があると、浸透すると思う。お金や場所などがあるとよいと思う。
585	備蓄は必要と思うけど、どこま準備したらいいのか、置いておくスペースもあまりないので、アドバイスが欲しい。 また、非常食は高いので、備蓄して期限が切れてしまうと、勿体ない。上手な利用方法を知りたい。 集団購入などを斡旋して欲しい。

586	<p>備蓄も大切なことは3.11の際に電気が止まったこともあり、あれこれ対策を考えてはいるが生活の現状にあったかたちで対策方法をスライドするすべを知らない。例えば当時中学生だった子供たちが大学生や社会人など地元から離れてしまったときの対策方法を知るすべがない。</p> <p>例えば大学や職場など、住んでいる市と違う場所（我が家は埼玉県であるが）に移動している場合での避難や移動等諸々のまとめ情報を県から発信して欲しいと思うのは甘えでしょうか？</p>
587	<p>備蓄用のセット販売を自治体主催で市役所や公民館で是非開催してください。受注注文で公民館や市役所窓口に取りに行く形が良いと思います。</p>
588	<p>必要だとはわかっているが、なかなか具体的な行動を起こせていない状態です。</p>
589	<p>必要な物がその時々が変わるのでアップデートをしていきたい。なるべく不要な物は捨てて落下や転倒防止をしたいです。</p>
590	<p>必要最低限の備蓄用飲食料や防災グッズを行政で、各家庭に配布してほしいです。</p>
591	<p>必要性は感じているのに行動に移せていなくて、今回のアンケートに回答したことで、早めに準備しなければなど思った</p>
592	<p>必要性は分かっているものの、食料、水の管理が難しく、なかなか上手に備蓄できない。</p>
593	<p>不十分のため不安感が多々あるが、仕方ないと感じている一面もある。</p>
594	<p>普段から部屋に物を置かないようにしています。自分の寝室には家具がほとんどありません。一応備えてはいますがこれから老いていく自分は何かあったら仕方がないと半分あきらめのような気持ちもあります。自分の子供たちを含め若い方々は地震だけではなく有事に対しての備えを日々意識してほしいです。</p>
595	<p>普段は使わない缶詰や非常食を備蓄していましたが、結局使わず無駄にしてみました。普段よく食べる賞味期限の長い食品をローリングストックするように変えています。水も普段は水道水しか使わないので、ペットボトルの水はあまり保存しないようにしています。結局、賞味期限が過ぎてしまうからです。最低限のモノは用意していますが、大地震が来た時は、その時に考えるしかないし、備蓄しておいても地震による家の倒壊、火災にあったら活かされないし、今の生活の方が大切だと思うのです。</p>
596	<p>普段何を準備していいのかわからない。 講習会などを開いて、災害時の備蓄や電話の使い方など教えてもらいたい。</p>
597	<p>物の整理を日頃から実施して不要な物をできるだけ整理する。</p>
598	<p>便利な世の中になった一方で、高齢者が増えて行動力に不安があったり、近所付き合いが希薄になって地域連携に不安があったりするので、自治体のサポートがほしい</p>
599	<p>保存食料の例などがあると解りやすい・用意しやすいのではないかと思います。 カップ麺はお湯がないとダメとか、缶詰も缶切りがないとダメとかの周辺情報も。</p>
600	<p>亡き母から関東大震災の恐怖、第2次世界大戦の恐怖、チリ地震の際の津波について聞きました。正月のお餅を寒風にさらして保存したり、お位牌を整理して、持ち運びやすいように過去帳に変えたり、今で考えられないアナログの時代でした。大切なものはデータ化していつでも取り出せるようにしてスマホを利用したり、車には常に家族の着替えを常備しています。履物も長靴を必ず入れています。</p>
601	<p>防災に関してだけ自治会へ参加したいがメニューが無い。妻が家具の転倒防止などを見栄えが悪くて嫌がるので限られたところしかできない。</p>
602	<p>防災に必要な燃料-消耗品-飲用水-食品を備蓄しています。</p>
603	<p>防災の必要性は痛感しているが、面倒で準備を先送りしている。行政で強制的に指導、実施していただきたい。防災グッズなども行政で配布、販売していただきたい。</p>
604	<p>防災マニュアルブックを見たことない。各戸配布しているのか、完成してホームページに載せてお終りか？</p>
605	<p>防災マニュアルを使った集会や講演会を、自治会や公民館で定期的実施してほしい。</p>
606	<p>防災や減災ではなく、「備災」が大切である。</p>
607	<p>毎日の生活で手一杯。やらなければと思うが、今はコロナ対策も加わって後回しになりがち。家具を留めるなどの工夫はしてあるが、保存食まで気が回らない。県市町村が配給の備えをしてくれたらと思う。このアンケートを機に家の中を見直そうとは思った。</p>
608	<p>毎年、8月最後の週末に、地域の自治会で、防災避難訓練がありましたが、今年度は無しになってしまいました。消防車がきて、消防団のかたが放水をしてくれたり、みんなでバケツリレーをしたり、持参のペットボトルに飲料水の供給もしてくれました。備蓄倉庫を確認したり、毛布で担架を作って運んでみたり、AEDの使い方なども実際に声を出してやりました。婦人会では、アルファ米を炊いて、終了後に参加者に持って帰って試食してもらいました。毎年経験できる取り組みが異なり、いつも、ここに参加することで、防災を意識していました。地域の方々とお話する機会もあって、安心することもできました。このような状況下でも、こうした機会は何とか工夫して設けることはできないか、考え中です。</p>
609	<p>満足に対策はしていないのでこれから用意をします</p>

610	未だ震度5強ほどの地震しか体験したことがなく、5強でもものすごい揺れを感じました。それ以上の震度の地震にあったときパニックにならず行動できるかは不安です。備えも用意しようと考えたこともありますが、どうしても保管場所や期限切れを忘れてたりとおろそかにしがちです。
611	密を避ける意味でも、避難所の箇所を増やしてほしい。
612	密集住宅地に住んでいますので、慌てて外に出ない。
613	無理なくできる限りの事を準備している。
614	明日来てもおかしくないけれども。 対策はしないよりしたいほうがいいでしょう。 しかし部屋もせまく、食糧の備蓄はきびしい。 まず、地震がきたときには、この部屋では住めないと思う。
615	油断なく事前の準備が大切
616	有事の際は自分の身は自分で守るという個人への意識づけを自治体はすべきだと思う。
617	理論上では、必要性を感じますが、具体性を感じられない。
618	離れた場所に家を複数持っているので、移動することを考えている
619	隣の家の改築時、コンクリート基礎工事の時 打設工事の翌日 型枠ばらしと木材の組み方が始まりました。コンクリート強度が出るまで 組み方はやらないのでは？家具だけの耐震だけで いいのか不安でいっぱい。